

テクノスルガ・ラボ

環境関連 微生物群集構造解析 / 菌叢解析
関連キット販売カタログ



ご案内および共通ガイド

微生物群集構造解析（菌叢解析）

データ解析

その他の微生物試験・製品

プライマーリスト



<https://www.tecsrg.co.jp>

「ヒトと地球の健康リスク評価および改善・修復で貢献」をスローガンに、安全、安心で豊かな環境作りのパートナーとして社会に貢献します。

1990年代後半、微生物同定試験を専門とする受託分析会社が国内にはもちろん、世界的にも少なかったころ。私たちは、国内で唯一の「微生物同定専門の試験受託サービス会社」として、スタートしました。

経営理念

我々は、FACT(真実)の追求を通じて共創し、バイオテクノロジーの発展、ヒトと地球の健康増進を目指す企業として社会に貢献する。

当社が考えるFACT(真実)の追求とは、

- 「FACTS」に基づく試験サービスの提供
- 「FACTS」に基づく技術・製品の開発と提供
- 「FACTS」としてのお客様ニーズの掘り起こし
- 科学技術、学術的な知見に基づく「FACTS」の探求

会社概要

- 会社名 株式会社テクノスルガ・ラボ
- 代表者 代表取締役社長 望月 淳
- 設 立 2007年5月
- 資本金 25百万円
- 事業所 〒424-0065 静岡県静岡市清水区長崎388番地の1
Tel. 054-349-6211 (代) / Fax. 054-349-6121
ホームページURL <https://www.tecsrg.co.jp>
- 株 主 タキオニッシュホールディングス株式会社
<https://www.tachyonish.com>
- 関係会社 海洋エンジニアリング株式会社 <https://kaiyoeng.com>
沿岸海洋調査株式会社 <https://www.engan.jp>
日本海洋株式会社 <https://www.nipponkaiyo.co.jp>
株式会社ソニック <https://www.u-sonic.co.jp>
株式会社アビサル <https://www.t-abyss.jp/>
サンエイ・マリン株式会社 <https://www.saneimarine.com>

会社沿革

1997年	[創業] (株) エヌシーアイエムビー・ジャパン設立 (静岡市清水区半左衛門新田) [技術提携] 英国NCIMB研究所と技術提携 [業務開始] 微生物同定の受託およびNCIMB菌株分譲を開始
2001年	[移転] 東海大学 海洋学部内に研究センターを開設・移転 [新サービス開始] 微生物群集構造解析受託サービスを開始 [研究開発] 腸内細菌叢研究の開始: 中小企業事業団 課題対応新技術研究調査事業を実施 「T-RFLPを用いた腸内細菌の菌相解析および食前食後の菌相変化解析に関する研究調査」
2002年	[経営環境] (有) テクノスルガが (株) エヌシーアイエムビー・ジャパンの全株式取得
2003年	[新サービス開始] DNA-DNAハイブリッド形成試験 受託サービスを開始
2004年	[新サービス開始] 理化学分析 受託サービスを開始
2005年	[移転] 受託業務の充実を目指し、事業所を静岡市清水区長崎330番地に移転
2007年	[共同開発] 国立遺伝学研究所と細菌基準株データベース構築の共同開発を実施 [新製品販売] テクノスルガ・ラボ微生物同定データベース&系統解析システムの販売開始
2008年	[経営環境] (株) テクノスルガをタキオニッシュホールディングス (株) へ改組 (株) テクノスルガの分析事業部を独立化し、受託分析の専門会社として (株) テクノスルガ・ラボを設立
2009年	[認証取得] ISO 9001の認証取得
2010年	[新サービス開始] 糞便中有機酸分析、糞便中腐敗産物分析 受託サービスを開始
2011年	[新サービス開始] リアルタイムPCR解析 受託サービスを開始 [研究開発] 公益財団法人 静岡県産業振興財団 地域課題に係る産学共同研究委託事業 「健康、食品評価に向けた腸内環境調査のための採便容器の開発」
2012年	[新サービス開始] 次世代シーケンス・アンプリコン解析、糞便中胆汁酸分析 受託サービスを開始
2013年	[新サービス開始] MALDI微生物同定試験 受託サービスを開始
2014年	[新サービス開始] (独) 酒類総合研究所よりライセンスの使用許諾を受け、アフラトキシン生合成遺伝子解析試験 受託サービスを開始
2015年	[認定取得] ISO/IEC 17025 (認定試験所) の認定取得
2018年	[経営環境] クリニック向けサービスを行う (株) メディカルインテグレーションをタキオニッシュホールディングス (株) のグループ会社化
2019年	[新サービス開始] 予測メタゲノム解析 受託サービスを開始
2020年	[経営環境] (株) メディカルインテグレーションを (株) テクノスルガ・ラボ MIグループとして統合 [移転] 業務拡大に伴い、研究センターを静岡市清水区長崎388番地の1に移転 [認証取得] JAPHICマークを取得 [新サービス開始] IR Biotyper株識別試験、QIIME2データ解析の受託サービスを開始 [新製品販売] メタボロキーパー®(糞便)採取キットの販売開始
2021年	[新サービス開始] Genome-to-Genome Distance Calculator (GGDC) 解析サービスを開始 [経営環境] 衛生検査所の登録
2023年	[認証取得] エコアクション21の認証取得

品質への取り組み

● ISO 9001 : 2015 品質マネジメントシステム / 2009.10.5 認証取得

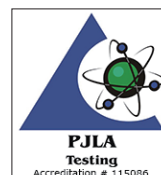
当社は、経営理念に基づき、お客様や社会の要求を満たす品質のサービスを、常に改善しながら提供します。



● ISO/IEC 17025 : 2017 試験所 / 2021.9.26 認定取得

(PJLA 認定番号115086 認定分野：生物学的試験)

当社は、日本薬局方に基づく遺伝子解析による微生物（細菌、カビ、酵母）の同定において、国際的な相互承認規定に基づき認定された試験所として、確かな同定結果を提供します。



環境への取り組み

● エコアクション21 / 2023.6.28 認証取得

当社は、環境への影響を配慮した企業活動を通じて、お取引業者様やお客様、地域の皆様の環境活動や安全・安心活動を支援します。



本カタログについて

- ◆ 表示価格は、消費税を含まない「税抜価格」です。
- ◆ 2025年10月に作成されたもので、予告なくサービス内容、製品の仕様、報告形式、価格などの変更をすることがあります。

ホームページの紹介

ホームページではカタログの内容に加え、新サービスや技術情報、テクニカルトレーニング開催情報などの当社最新情報を掲載しています。

- ◆ 初回のお客様登録
- ◆ 依頼書のダウンロード
- ◆ お問い合わせは当社ホームページから！

<https://www.tecsrg.co.jp>



当社キャラクター「セレビちゃん®」です。
よろしくお願いします。

テクノスルガ・ラボ通信による情報提供

当社の最新情報を無料でお届けします。

- ◆ キャンペーン情報
- ◆ 新サービス・新製品の情報
- ◆ 技術スタッフの学術発表情報
- ◆ 技術情報・技術コラム
- ◆ テクニカルトレーニング開催情報
- ◆ 展示会・学会などの出展情報

お申し込みは、tsl-contact@tecsrg.co.jp までご連絡下さい。

TechnoSuruga Laboratory. CATALOG CONTENTS

詳細目次

ご案内および共通ガイド	5
初めてのお客様へ	6
試験ご依頼の基本的な流れ	7
ご依頼前の同意事項(共通)	8
【ガイド】 お預かりした検体、DNA抽出物の返送と処分	9
【ガイド】 生体由来検体の返送に関するご案内	9
【ガイド】 作業工程の実費・重複減額、検体保管のご案内	10
【ガイド】 DNA抽出物およびPCR産物検体の送付条件	11
微生物群集構造解析 (菌叢解析)	13
【ガイド】 微生物群集構造解析 (菌叢解析)	14
【ガイド】 遺伝子の機能予測	15
DNA抽出	17
【技術情報】 当社開発の細菌・アーキア一括プライマーセット	20
【技術情報】 植物由来配列のPCR増幅を抑制したアンプリコンシーケンス解析	21
アンプリコンシーケンス解析 (細菌・アーキア)	22
アンプリコンシーケンス解析 (カビ・酵母)	25
リアルタイムPCR解析 (定量)	28
特異プライマーPCR解析 (定性)	30
データ解析	32
アンプリコンシーケンスデータ解析 (Metagenome@KIN)	33
アンプリコンシーケンスデータ解析 (QIIME2)	36
Rによるデータ解析	38
PICRUSt2による予測メタゲノム解析	41
その他の微生物試験・製品	44
【ガイド】 NCIMB株、TL株分譲の基本的な流れ	45
NCIMB株分譲	46
TL株分譲	47
アンプルカッター	47
リアルタイムPCR用定量キット (環境・食品関連)	49
リアルタイムPCR用 プライマーリスト	50
テクノスルガ・ラボ サービス基本約款	58

Memo

ご案内および共通ガイド

ご案内および共通ガイド..... 5

 初めてのお客様へ 6

 試験で依頼の基本的な流れ 7

 ご依頼前の同意事項(共通) 8

 【ガイド】 お預かりした検体、DNA抽出物の返送と処分 9

 【ガイド】 生体由来検体の返送に関するご案内 9

 【ガイド】 作業工程の実費・重複減額、検体保管のご案内 10

 【ガイド】 DNA抽出物およびPCR産物検体の送付条件 11

初めてのお客様へ

1. 受付時間のご案内

9:00～12:00 / 13:00～17:00（土・日・祝日を除く）

17:00以降にいただいたEメールでのお問い合わせは、原則翌営業日以降の回答になります。

2. まずは、ご遠慮なくお問い合わせ下さい

ご要望に応じた試験方法、ご希望の納期やご予算にあった試験メニューをご提案します。

お問い合わせ先	
Tel : 054-349-6155	Fax : 054-349-6121
Eメール : tsl-contact @ tecsrgr.co.jp	

3. 初めてご依頼の際は、お客様登録をお願いします

当社ホームページのお客様登録ページからご登録をお願いします。

- ① 当社からお客様へご報告するデータの確認に必要な「ファイル解凍パス」をご指定下さい。
- ② 当社からのご連絡窓口、報告書の宛先となられるご担当者様のお名前でご登録をお願いします。
- ③ 「情報セキュリティ保護方針」、「個人情報および特定個人情報保護方針」は当社ホームページをご参照下さい。

※ 登録に際しまして、追加情報の提供のお願いや信用調査をすることがあります。当社の与信管理に適合しないと判断した場合、登録をお断りすることがあります。

ご登録内容に変更が生じた場合は、お客様登録区分を「変更」としていただいた上で、お客様情報のご登録をお願いします。

4. 割引会員について

ご希望のお客様は、お客様登録時に会員割引「希望する」をご選択下さい。

アカデミック割引	ホームページ、広告などに「機関名」をお取引先として公表する許可をいただける大学・高等学校（教育機関）、公的研究機関のお客様は 8% 割引します。
静岡県内割引	会員割引のご希望に関わらず、静岡県内の住所でご登録いただいたお客様は 3% 割引します。
特別会員割引	“テクノスルガ・ラボによる試験データ”のように記述をしていただいた論文が学術雑誌（和文も可能）などに掲載された場合、当社まで別刷りをお送りいただけますと、以降のご依頼からさらに 4% 割引します。特別会員割引および静岡県内割引は、会員割引、アカデミック割引と併用いただけます。

※ キャンペーン対象試験など一部サービスには割引が適用されません。

5. お客様専用のシリアル番号を発行します

お客様登録情報の内容を確認後、お客様個人に固有のID（シリアル番号）を発行し、ご連絡します。

シリアル番号は、今後のご依頼またはご本人様確認などに必要となりますので、適切に管理をお願いします。

また、登録時に設定していただいた「ファイル解凍パス」も大切に保管下さい。

※ シリアル番号およびファイル解凍パスをお忘れになった場合、Eメールでお問い合わせ下さい（ご本人様確認のため、お電話では回答しません）。

6. 業務委託契約書、秘密保持契約書などの締結について

お客様指定の業務委託契約書、秘密保持契約書などの契約書または覚書の締結のご要望がありましたらお問い合わせ下さい。個別に対応します。

試験ご依頼の基本的な流れ

1 依頼書の入手

当社ホームページより、最新の依頼書をダウンロードして下さい。

2 依頼書のご記入と送信

必要事項をご記入の上、希望項目をご選択下さい。検体の送付前にEメールにて依頼書をお送り下さい。また、事前の見積りなどをご希望の場合にはご連絡下さい。

検体の安全性（分離源、推定される分類群、遺伝子組換えの有無、有害物質の有無）や使用する培地・試薬などの在庫を確認します。

海外遺伝資源の場合、適法に取得されたか否かを確認することがあります。

3 検体の送付

依頼書の写しを添えて、検体を当社宛にお送り下さい。

※ 検体が到着次第、直ちに試験の着手が必要な場合、検体送付日と試験日程を必ず事前にご相談下さい。

検体の送付先	検体受付※
株式会社テクノスルガ・ラボ 〒424-0065 静岡県静岡市清水区長崎 388 番地の1 Tel : 054-349-6155	土・日・祝日を除く 平日 17:00 までに到着した検体は当日受付、以降は翌営業日の受付 ただし、MALDI 微生物同定試験、Rapid 解析およびDNA 特急は、検体が当日午前中までに到着し、 実施条件が整った場合は当日受付、以降は翌営業日の受付となります。試験前の区分確認をご希望の場合も同様に翌営業日の受付となります。

※ 遺伝子組換え生物や臨床由来の検体およびインフォームドコンセントが必要な検体はテクノスルガ・ラボ サービス基本約款をご確認下さい。

※ 実施条件とは、純化された平板培養物および実施するコロニーやカテゴリーなどが明確であった場合を示します。

梱 包：

破損、漏洩がないように梱包して下さい。水滴などに伴う梱包材の軟化や破断による汚染、または病原性のある検体の場合、破損や結露による湿潤により、検体が漏洩する恐れがあります。梱包は可能な限り発泡スチロール製の容器をご利用下さい。

4 検体の確認

検体の状態、検体量を確認します。検体が平板培養物の場合はコロニーの純粋性を確認し、培養が必要な試験の場合は合わせて生育性を確認します。

5 見積書・注文書の発行

検体の受領、培養確認後に見積書、注文書を発行します。注文書にご署名の上、EメールまたはFAXにてご返信下さい。注文書の返信の確認をもって、試験を開始します（MALDI微生物同定試験、Rapid解析などの注文書を省略する試験は除きます）。

ご依頼内容やお取り引き条件によっては前払いをお願いすることがあります。

6 試験開始

経験豊富な技術担当者が試験を行います。

7 報告書の納品

報告書の納品形式／方法は右表をご参照下さい。

納品書・請求書は報告・納品完了の後に発行します。

ご報告書のお受け取り後は、報告書の受領確認書の返信をお願いします。

試験の納品形式 / 方法

納品形式	納品方法
PDF 報告書	オンライン
	配送
印刷報告書	配送

8 試験終了と今後のご相談

報告内容についてのご質問、追加試験の相談などご遠慮なくお問い合わせ下さい。

ご依頼前の同意事項 (共通)

ご依頼全般に際して

- ・試験をご依頼いただく際には、当社のサービス基本約款に同意していただきます。サービス基本約款には、取扱いのできない検体、業務の中止、責任の範囲や法規制の遵守などが記載してあります。
- ・本カタログ記載の納期は、当社が定める正式注文日の翌営業日から報告までに要する目安日数となり、当社の受注状況などによっては調整をすることがあります（MALDI微生物同定試験・Rapid解析などの注文書を省略する試験項目は除きます）。
- ・本カタログの表示価格は、消費税を含まない税抜価格です。
- ・試験は当社標準のプロトコールにて行います。プロトコールのご指定がある場合には、別途お問い合わせ下さい。
- ・試験の作業において、結果が得られない場合の繰り返し作業は、「初回の作業を含めて原則 2 回まで」とします。
- ・検体に由来する事由（試験阻害物質の混入、有害菌・有害物質の存在の可能性があるかと判断した場合など）で、試験結果が得られないまたは試験が中止となった場合は、実施した作業内容と結果を報告の上、それまでに要した費用の全額をご請求します。
- ・解析に使用する一部のソフトウェアはオープンソースソフトウェアのため、「現状のまま」提供され、バグや不具合が含まれている可能性があります。

依頼書のご記入に際して

- ・ご依頼の際は当社ホームページより最新の依頼書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
- ・依頼書をダウンロードできない場合は、問い合わせフォームまたは、お電話などでご連絡下さい。EメールまたはFAXにて依頼書をご案内します。
- ・遺伝子組換え生物などのゲノム編集生物の検体をご依頼の場合、「遺伝子組換え生物などゲノム編集生物情報」のご記入が別途必要となります。
- ・同一試験内容で複数検体をご依頼の場合、1枚の依頼書にまとめてご記入下さい。検体数が多く検体名が記入欄に入りきらない場合には、エクセルファイルなどの電子データで一覧をご用意いただき、依頼書とともに送付下さい。
- ・共同研究や会計手続き上、見積書・請求書の宛名・送付先がお客様登録内容と異なる場合は、依頼書下部の所定の欄に必要事項をご記入下さい。
- ・検体送付前に、Eメールにて依頼書を送付下さい。
- ・FAXでお送りいただいた依頼書に対しては、当社から受領のご連絡をしません。必要なお客様は事前にご連絡下さい。

検体の送付に際して

- ・事前にお送りいただいた依頼書の写しを添えて、当社営業部宛に当社営業日着となるようにお送り下さい。
- ・検体の受領確認として検体受取票を返信します。ご送付検体と相違ないかを必ずご確認ください。
- ・DNA抽出物やPCR産物での依頼は、PCR増幅の確認を行った電気泳動像をご提供いただきます。
- ・検体受領後、技術担当者が受領検体でご依頼の試験が実施可能か否かを判断します。必要に応じて問い合わせをすることがあります。
- ・検体の送付量については、各試験項目の「必要検体量・送付方法」をご確認ください。
- ・水滴などに伴う梱包材の軟化や破断による汚染等が考えられるため検体は、発泡スチロール容器などに梱包いただき、漏洩にご注意下さい。

見積りと注文、試験開始に際して

- ・検体確認後、見積書・注文書をご案内します（MALDI微生物同定試験、Rapid解析などの注文書を省略する試験項目は除きます）。
- ・検体送付前に事前見積書の発行をご希望されるお客様は、予めご連絡下さい。
- ・見積書の内容をご承認いただける場合には、注文書にご署名の上、EメールまたはFAXにて当社までご返信下さい。注文書の確認をもって、試験を開始します。ただし、MALDI微生物同定試験やRapid解析などの試験は、注文書の確認を省略して試験を開始します。
- ・試験において検体到着後、直ちに試験の開始が必要な場合、検体送付日と試験日程を事前にご相談下さい（MALDI微生物同定試験、Rapid解析などの注文書を省略する試験項目は除きます）。

報告書・製品の納品に際して

- ・PDF報告書のオンラインでの納品を基本とします（一部試験を除く）。
- ・配送にて報告書の納品をご希望の場合、送料として 2,000円（税抜）をご請求します。
- ・冷凍便での納品は、別途ドライアイス費用をご請求します。
- ・配送納品の場合、北海道、東北地方の一部、沖縄県、九州地方などでは輸送日数により納品日変動します。
- ・報告先はお客様登録情報の通りとし、ご依頼者に対し1通のみを発行します。
- ・報告書のオンライン納品は、CCによる第三者への同時送付は原則お断りします。
- ・製品のご購入合計金額が 10,000円（税抜）未満の場合は、送料として 2,000円（税抜）をご請求します。
- ・報告書再発行や追加発行ならびに報告書作成に使用した MS Word ファイルをご希望の場合には、1 冊あたり 3,000円（税抜）をご請求します。
- ・報告書の再発行は、報告後 1 年までとします。
- ・機能性表示食品の届出のため作業手順書を発行する際は、発行費用 3,000円（税抜）をご請求します。
- ・試験結果からの類推は、当社で行いません。お客様ご自身で解釈・ご判断下さい。
- ・試験サービス、製品の仕様は予告なく変更、または提供を終了する場合があります。

試験終了後の検体の取扱いに際して

- ・お預かりした検体は、無償にて滅菌処分または有償にて返送します。生体由来検体を含む凍結品の返送は、返送費用、保冷剤費用を別途ご請求します。
- ・微生物培養物以外の検体で処分が困難なもの、または検体量が多く当社での処分に別途費用が発生する場合、その費用をご請求することがあります。
- ・有害物質が含まれている可能性のある検体および含まれているかが不明な検体は、返送します。
- ・お預かりした検体の一時保管は1ヶ月までです。原則として報告後2週間経過した検体は処分させていただきます。
- ・微生物株保存機関の菌株を当社で購入代行した場合につきましては、菌株、その複製物、遺伝資源は譲渡できません。
- ・お預かりする検体の内、平板培養物では試験に供するコロニーの選択を確実にするため、マジックなどで〇印などをつけることがあります。
- ・分離や群集構造解析などの検体では破砕等の必要な処理を施すため、元検体の状態を維持できないことがあります。

【ガイド】お預かりした検体、DNA抽出物の返送と処分

返送と処分費用

お預かりした検体および作業の過程で発生したDNA抽出物は、滅菌処分または有償で返送します。ただし生体由来検体を含む凍結品の返送は、返送費用、保冷剤費用を別途ご請求します。

返送について

項目	説明	単位	価格（税抜）
元検体返送	試験に使用した後の検体を返送します。	1 回	2,000 円
DNA 抽出物返送	試験の中間産物として生じた DNA 抽出物を返送します。	1 回	2,000 円
預り品の返送 ^{※1}	-	1 回	2,000 円
培養菌体の返送 ^{※2}	試験の中間産物として生じた継代培養物を返送します。	1 回	有償
試験中止の元検体返送	試験着手前に中止となった元検体を返送します。	1 回	着払い返送

処分について

項目	説明	価格（税抜）
元検体処分	試験に使用した後の検体を当社で処分します。	無償
DNA 抽出物処分	試験の中間産物として生じた DNA 抽出物を当社で処分します。	無償
預り品の処分 ^{※1}	-	無償

※1 ここでの預り品とはお客様より支給いただいた、もしくはお客様に代わり当社で代理購入した試薬、資材を指します。ただし代理購入菌株、その複製物、遺伝資源は譲渡できません。

※2 凍結保存品（グリセロールストック）やスラント（斜面培養物）で返送いたします。凍結保存品（グリセロールストック）、スラントの作製費用、返送費用は有償となります。

【ガイド】生体由来検体の返送に関するご案内

生体由来検体の返送をご希望のお客様には、定温マルチBOXによる臨床検体輸送サービスを利用してお送りします。

臨床検体について

作業内容	容器サイズ（内寸）		単位	価格（税抜）
生体由来検体返送（冷凍）	10 サイズ	230 mm × 230 mm × 200 mm	個	38,600 円
			追加 1 個	+ 13,650 円
	50 サイズ	320 mm × 450 mm × 350 mm	個	66,700 円
			追加 1 個	+ 40,700 円

【ガイド】作業工程の実費・重複減額、検体保管のご案内

作業実費例

当社では、やむを得ず試験を中止する、あるいはある作業工程以降の試験進行が困難な場合、それまでの作業実費のみご請求します。

作業内容	対象試験	価格（税抜）
PCR 増幅まで	DNA 塩基配列解析	6,000 円
	微生物群集構造解析（生体 A）	12,000 円
	微生物群集構造解析（環境関連、生体 B）	13,000 円
シーケンスまで	DNA 塩基配列解析	12,000 円

作業工程の重複減額例

同一検体で追加試験または、複数の試験を同時にご依頼頂いた際に、重複する作業工程がある場合、重複分の費用を減額します。

作業内容	対象試験	減額（税抜）
DNA 抽出	DNA 塩基配列解析	1,000 円
	微生物群集構造解析	3,000 円

その他追加費用

お客様のご都合により試験実施を保留する場合、またはご報告後、追加試験の実施を検討するなどの理由で検体の処分や返送を保留する場合、1ヶ月を超えての保管はいたしません。1ヶ月経過後返送もしくは弊社で滅菌処分とさせていただきます。また、お客様との連絡が困難と判断させていただいた場合は、事前のご了承を得ることなく、検体を返送させていただきます場合があります。

項目	単位	価格（税抜）	説明
一時保管費用	検体	無償	事前にご希望いただいた場合に限り、報告後1ヶ月を上限に一時保管します。

【ガイド】DNA抽出物およびPCR産物検体の送付条件

DNA抽出物およびPCR産物で試験をご依頼いただく場合には、試験項目に応じた濃度、容量をご準備下さい。なお、PCR増幅を確認した電気泳動像のご提供を必須とします。依頼書の作成時にあわせてご用意下さい。

DNA抽出物の送付

試験項目	推奨 DNA 濃度	核酸の純度 (A260/A280)	推奨送付容量	その他条件
DNA 塩基配列解析	30 ng/μL 以上※	目安 1.8 以上	50 μL 以上	溶解バッファーは DNase/RNase - free water TE buffer pH 8.0 (0.1 ~ 1 mM EDTA) をご使用下さい。
アンプリコンシーケンス解析	5 ng/μL 以上		30 μL 以上	
T-RFLP フローラ解析	10 ng/μL 以上		30 μL 以上	
リアルタイム PCR	10 ng/μL 以上		30 μL 以上 (1 プライマー あたり 15 μL 以上)	

PCR産物（精製済）の送付

試験項目	推奨 DNA 濃度	推奨送付容量	その他条件
DNA 塩基配列解析	100 ng/μL 以上※	20 μL 以上	溶解バッファーは TE buffer pH 8.0 (0.1 ~ 1mM EDTA) をご使用下さい。

- ・ 検体とは別にご使用の溶解バッファーを100 μL程度ご同梱下さい。
 - ・ 送付方法: 冷蔵、または冷凍でご送付下さい。
 - ・ 送付条件に満たない場合については、お問い合わせ下さい。送付条件を満たしていても試験可能な場合があります。
 - ・ DNA抽出物検体はPCRを2回実施しても増幅産物が得られない場合、以降の試験を中止します。PCR増幅が確認されなかった検体について報告書内にその旨の記載、またはPCR増幅確認報告書(電気泳動写真付)を納品し、作業実費をご請求します。
- ※ DNA抽出物については、記載の濃度以下でも解析が可能な場合がありますのでご相談下さい。

Memo

微生物群集構造解析（菌叢解析）

微生物群集構造解析 (菌叢解析)..... 13

【ガイド】 微生物群集構造解析 (菌叢解析)..... 14

【ガイド】 遺伝子の機能予測 15

DNA抽出 17

【技術情報】 当社開発の細菌・アーキア一括プライマーセット 20

【技術情報】 植物由来配列のPCR増幅を抑制したアンプリコンシーケンス解析 21

アンプリコンシーケンス解析 (細菌・アーキア) 22

アンプリコンシーケンス解析 (カビ・酵母) 25

リアルタイムPCR解析 (定量) 28

特異プライマーPCR解析 (定性) 30

【ガイド】微生物群集構造解析（菌叢解析）

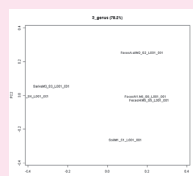
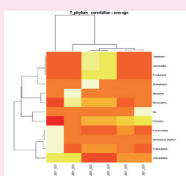
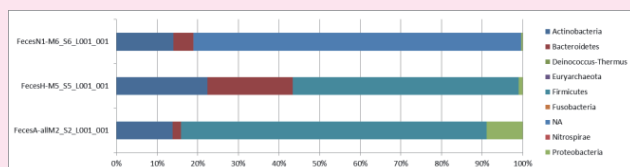
微生物群集構造解析（菌叢解析）は培養を伴わない解析です。難培養微生物を含んだ群集構造の全体を把握するための網羅的な解析や、特定分類群の定量的な解析が可能です。網羅的な解析は全帰属分類群に対する割合を示すため、定量的な解析を組み合わせることで、半定量的に微生物群集構造を推定することも可能です。

A 網羅的な解析

A アンプリコンシーケンス解析

土壌、活性汚泥、環境水のような環境中の検体および発酵食品、乳酸菌飲料などの検体で解析可能です。

DNA対象：細菌・アーキア、カビ、酵母



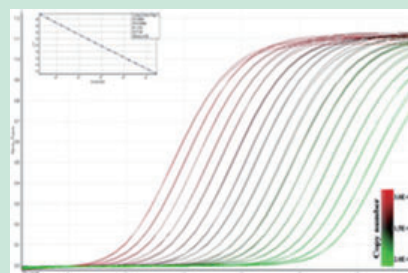
※セット1の解析例です

B 特異的な解析

B 特定分類群の量を確認したいリアルタイムPCR解析（定量試験）

土壌、活性汚泥、環境水のような環境中の検体および発酵食品、乳酸菌飲料などの検体で解析可能です。

全細菌や全アーキアのコピー数と比較することで、検体中の標的菌の割合を推定可能です。



標的菌群	標的遺伝子	コピー数
全細菌	16S rRNA	1-17
<i>Bifidobacterium</i> 属	16S rRNA	2-5
<i>Bacteroides</i> 属	16S rRNA	3-7
<i>Clostridium</i> cluster IV	16S rRNA	2-4
<i>C. perfringens</i>	16S rRNA	8-10

複合解析例

アンプリコンシーケンス解析＋リアルタイムPCR解析

細菌(DNA)を対象としたアンプリコンシーケンス解析と全真正細菌(16S rDNA)を対象としたリアルタイムPCR解析を同一DNAから行うことで、検体中の各帰属分類群の存在量を半定量的に推定することが可能です。

【ガイド】遺伝子の機能予測

微生物群集構造解析では、微生物を培養することなく網羅的に検出することが可能です。現在、これらの検出可能な微生物種（菌群）の遺伝子の機能予測が注目されています。

特定の機能遺伝子を標的としたリアルタイムPCRによる解析では、検体中に含まれる硝化細菌や脱窒細菌、硫黄酸化細菌などの微生物種（菌群）の定量が可能です。土壌や水検体などを通じた環境評価を行う際に有効となります。利用可能なプライマーについては、巻末のプライマーリストをご参照下さい。

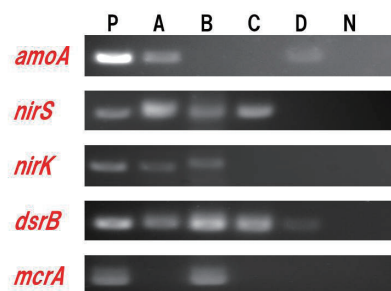
次世代シーケンサー（NGS）によるアンプリコンシーケンス解析（QIIME2）のデータを用いた『予測メタゲノム解析』は、ショットガンメタゲノム解析の代替法として利用されています。塩基配列解析の結果から推定された種についてゲノムデータベースを検索し、そのゲノムデータから検体中に含まれる特定の「代謝に関与する機能遺伝子」を探索、定量化します。単なる菌叢解析に留まらず、検体間の遺伝子の機能に関する評価が行えますので、より踏み込んだ考察が可能となります。

硝化・脱窒細菌の検出

硝化細菌とは、アンモニア性窒素を亜硝酸性窒素へ酸化するアンモニア酸化細菌（亜硝酸菌）、亜硝酸性窒素を硝酸性窒素へ酸化する亜硝酸酸化細菌（硝酸菌）の総称であり、いずれも好気性の化学合成独立栄養細菌です。硝化能をもつ微生物には、有機栄養の細菌や糸状菌も知られていますが、自然界で硝化に寄与しているのは主に無機栄養の硝化細菌です。

脱窒細菌とは、亜硝酸性窒素あるいは硝酸性窒素を窒素ガスあるいは亜酸化窒素のような気体に還元する細菌の総称です。脱窒細菌は、水中に溶存している無機態の窒素を気圏に回帰させる窒素循環経路における最終的な役割を担っています。

✂ リアルタイムPCRによるアンモニア酸化酵素遺伝子（*amoA*）、硝酸還元酵素遺伝子（*nirK*, *nirS*）の検出



アナモックス細菌（嫌気性アンモニア酸化細菌）の検出

1999年に、アンモニアと亜硝酸を嫌気条件下で窒素ガスへ変換するアナモックス反応を行う菌（アナモックス細菌）の存在が明らかになりました。しかし、アナモックス細菌は、世代時間が11日間と長く、また純粋培養された例がありません。アナモックス細菌は、PCR法により検出することが可能です。

✂ リアルタイムPCRによるアナモックス細菌の検出

（当社では、アナモックス細菌のPCR法による検出に機能遺伝子を使用しています）

✂ アナモックス細菌の割合を理論値に近付けたアンプリコンシーケンス解析¹⁾

- 1) **Mazzoli L, Munz G, Lotti T, Ramazzotti M.** A novel universal primer pair for prokaryotes with improved performances for anammox containing communities. *Sci Rep.* 2020 24;10:15648.

下水道施設におけるコンクリート腐食に関わる微生物として 硫黄酸化細菌の検出

下水道分野では、硫黄酸化細菌は、硝酸塩還元細菌と連携して強酸を生成し、下水管渠（管きょ）などのコンクリートの腐食に関与することが知られています。

✂ リアルタイムPCRによる硫黄酸化細菌の検出

PICRUSt2による予測メタゲノム解析

アンプリコンシーケンス解析（QIIME2）の結果から、検体中に含まれる特定の「代謝に関与する機能遺伝子」を推定します。

Memo

DNA抽出

特 長

- ・食品や環境検体などからDNAを抽出し濃度測定結果とともに納品

概 要

様々な種類の食品や環境検体などからDNAを抽出します。

受入可能な検体

由来	検体の種類
食品	発酵食品、乳酸菌飲料など
活性汚泥	発酵槽の汚泥、下水汚泥など
土壌	一般土壌、砂、火山灰など
発酵検体	堆肥、コンポスト、培養液など
環境水	水道水、工業廃水、海水、湖沼水など

必要検体量・送付方法

検体		必要量	留意点および送付方法
食品		10 g または 100 mL	採取後速やかに冷蔵保存、冷蔵輸送
活性汚泥		5 ～ 10 mL	
土壌		1 ～ 5 g	
発酵検体	堆肥、コンポストなど	1 ～ 5 g	
	培養液など	5 ～ 10 mL	
環境水	水道水、濁りの少ない河川水など	100 ～ 1000 mL	
	工業廃水、下水など	50 ～ 500 mL	

- ・ 外洋海水、深海堆積物など、生物量が少ないと考えられる検体についてはお問い合わせ下さい。

作業の流れ



仕 様

抽出キット例※	内 容
MORA-EXTRACT	抽出～精製を左記キットで実施します。
ISOIL for Beads Beating	
DNeasy PowerClean Pro Cleanup Kit	

※ 検体の種類によって、試薬、キットを変更します。他のDNA抽出キットを使用したDNA抽出をご希望の場合、お問い合わせ下さい。

納品内容

TEバッファーに溶解したDNAを70 μ L以上納品します。吸光度測定によるDNA濃度測定結果を報告します。

報告納品内容	形 式
DNA 抽出物	マイクロチューブ
DNA 濃度測定結果	Excel ファイル

報告サンプル

DNA 抽出

[illegible]

価格・納期

試験項目	検体数	単位	単価（税抜）	目安納期
DNA 抽出	1	検体	17,000 円	15 営業日～

<オプション>

仕 様

試験項目	内容
秤量	DNA 抽出に使う検体量を秤量し、抽出を行います。 (※ リアルタイム PCR 解析に使用する場合は必須)
PCR 増幅確認	16S rDNA のユニバーサルプライマーを用いて PCR 増幅の有無を確認します。
二本鎖 (ds) DNA 濃度測定	蛍光法により Qubit またはマイクロプレートリーダーで測定します。

納品内容

試験項目	形式
秤量結果	Excel ファイル
PCR 増幅確認結果	jpg ファイル
二本鎖 (ds) DNA 濃度測定結果	Excel ファイル

価格・納期

試験項目	検体数	単位	単価 (税抜)	納期
秤量	1	検体	1,000 円～	+ 2 営業日～
PCR 増幅確認	1	検体	6,000 円	+ 5 営業日～
二本鎖 (ds) DNA 濃度測定 (蛍光法)	1 ～ 4	検体	6,000 円	+ 2 営業日～
	5 ～ 23		3,000 円	
	24 ～		2,000 円	

ご依頼前の同意事項

- DNA抽出物の納品には、別途送料が必要となります。
- 秤量および他分析項目を同時に行う場合には、検体の必要量が変わりますのでお問い合わせ下さい。
- 本サービスは、当社の受託解析サービス（アンブリコンシーケンス解析、リアルタイムPCR解析など）の基本サービスであり、当社の受託解析サービス以外での解析における必要なDNA量および品質を保証するものではありません。
- 当社において、ショットガンメタゲノム解析での最適なDNA抽出方法の検証は行っておりません。
- DNAの収量は、検体の採取量および保存状態に依存します。あらかじめご了承下さい。
- DNAの収量の評価については、オプションサービスをご依頼下さい。
- **ご依頼前の同意事項（共通）を必ずご確認ください。**

【技術情報】当社開発の細菌・アーキア一括プライマーセット

当社開発のアンプリコンシーケンス解析用プライマーセット(細菌・アーキア一括)¹⁾は、2017年に腸内微生物叢解析の Goldstandard Method(s) として紹介されました^{2,3)}。今日まで、腸内環境はもちろん自然環境分野の論文でも多く採用されています⁴⁻¹⁵⁾。

当社では、細菌のみを対象としたアンプリコンシーケンス解析も承っておりますが、腸内のメタン産生やバイオリクターのアンモニア酸化など、その環境の微生物群集がもつ生理的機能や多様性をより正確に捉えるという観点から、**細菌・アーキア一括プライマーセットでの解析をお奨めしております。**

- 1) **Takahashi S, Tomita J, Nishioka K, Hisada T, Nishijima M.** Development of a prokaryotic universal primer for simultaneous analysis of *Bacteria* and *Archaea* using next-generation sequencing. *PLoS One* 2014;9:e105592.
- 2) **Rojo D, Mendez-Garcia C, Raczowska BA, Bargiela R, Moya A et al.** Exploring the human microbiome from multiple perspectives: factors altering its composition and function. *FEMS Microbiol Rev* 2017;41:453-478.
- 3) **Ferrer M, Raczowska BA, Martinez-Martinez M, Barbas C, Rojo D.** Phenotyping of gut microbiota: Focus on capillary electrophoresis. *Electrophoresis* 2017;38:2275-2286.
- 4) **Hari AR, Katuri KP, Logan BE, Saikaly PE.** Set anode potentials affect the electron fluxes and microbial community structure in propionate-fed microbial electrolysis cells. *Sci Rep* 2016;6:38690.
- 5) **Barthels C, Ogrinc A, Steyer V, Meier S, Simon F et al.** CD40-signalling abrogates induction of ROR γ t⁺ Treg cells by intestinal CD103⁺ DCs and causes fatal colitis. *Nat Commun* 2017;8:14715.
- 6) **McAnulty MJ, Poosarla VG, Kim K-Y, Jasso-Chavez R, Logan B et al.** Electricity from methane by reversing methanogenesis. *Nat Commun* 2017;8:15419.
- 7) **Cahill AG, Steelman CM, Forde O, Kuloyo O, Ruff SE et al.** Mobility and persistence of methane in groundwater in a controlled-release field experiment. *Nat Geosci* 2017;10:289-294.
- 8) **Li M, Zhou H, Pan X, Xu T, Zhang Z et al.** Cassava foliage affects the microbial diversity of Chinese indigenous geese caecum using 16S rRNA sequencing. *Sci Rep* 2017;7:45697.
- 9) **Kunath BJ, Delogu F, Naas AE, Arntzen MØ, Eijsink VG et al.** From proteins to polysaccharides: lifestyle and genetic evolution of *Coprothermobacter proteolyticus*. *ISME J* 2019;13:603-617.
- 10) **Müller H, Marozava S, Probst AJ, Meckenstock RU.** Groundwater cable bacteria conserve energy by sulfur disproportionation. *ISME J* 2020;14:623-634.
- 11) **Morella NM, Weng F C-H, Joubert PM, Metcalf CJE, Lindow S et al.** Successive passaging of a plant-associated microbiome reveals robust habitat and host genotype-dependent selection. *Proc Natl Acad Sci* 2020;117:148-1159.
- 12) **Fernández-González AJ, Cardoni M, Cabanás C G-L, Valverde-Corredor A, Villadas PJ et al.** Linking belowground microbial network changes to different tolerance level towards *Verticillium* wilt of olive. *Microbiome* 2020;8:11.
- 13) **Cichocki N, Hübschmann T, Schattenberg F, Kerckhof FM, Overmann J et al.** Bacterial mock communities as standards for reproducible cytometric microbiome analysis. *Nat Protoc* 2020;15:2788-2812.
- 14) **Konuma T, Kohara C, Watanabe E, Takahashi S, Ozawa G, Suzuki K et al.** Reconstitution of Circulating Mucosal-Associated Invariant T Cells after Allogeneic Hematopoietic Cell Transplantation: Its Association with the Riboflavin Synthetic Pathway of Gut Microbiota in Cord Blood Transplant Recipients. *J Immunol* 2020;204:1462-1473.
- 15) **Holman LE, De Bruyn M, Creer S, Carvalho G, Robidart J et al.** Animals, protists and bacteria share marine biogeographic patterns. *Nat Ecol Evol* 2021; 5:738-746.

【技術情報】植物由来配列のPCR増幅を抑制したアンプリコンシーケンス解析

植物性食品（発酵食品）中の細菌叢解析が精力的に進められています。しかし、16S rRNA遺伝子を標的とした遺伝子解析を実施する際、データベースに植物由来の配列（*Streptophyta*）が登録されている場合、ユニバーサルプライマーの配列（341f – R806, 16S rDNA V3-V4領域）^{1,2)}では*Streptophyta*の配列を増幅してしまい、本来の細菌叢を反映できないことが確認されています。

当社では16S rDNA V5-V7領域^{3,4)}を標的としたアンプリコンシーケンス解析用プライマーをご用意しました。16S rDNA V5-V7領域を用いることで*Streptophyta*の配列の増幅を抑えられることを、RDP (Ribosomal database project) およびGreengenes databaseで確認しております（図1）。

植物を含む細菌叢解析において、植物由来の配列が増幅してしまう問題を大幅に解消していますが、植物由来の配列を完全に除去できない点は注意が必要です。また、16S rDNA V3-V4領域の解析結果とは単純な比較ができなくなる点も注意が必要です。

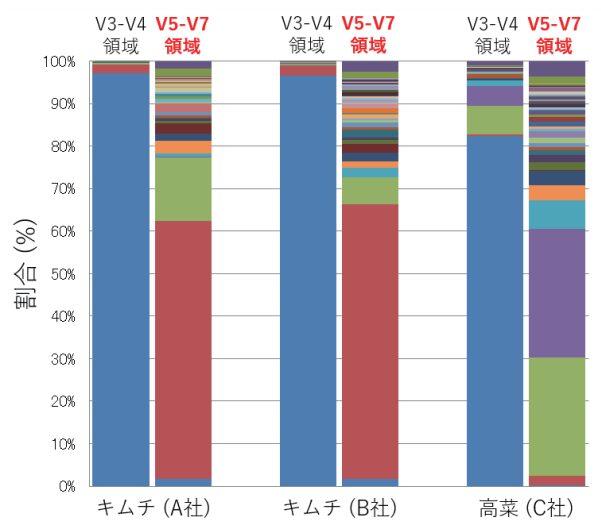


図1. アンプリコンシーケンス解析結果 (■: *Streptophyta*配列)

参考文献

- 1) Muyzer G, de Waal, EC. Uitterlinden, AG. Profiling of complex microbial populations by denaturing gradient gel electrophoresis analysis of polymerase chain reaction-amplified genes coding for 16S rRNA. *Appl Environ Microbiol* 1993;59:695-700.
- 2) Caporaso JG, Lauber CL, Walters WA, Berg-Lyons D, Lozupone CA *et al.* Global patterns of 16S rRNA diversity at a depth of millions of sequences per sample. *Proc Natl Acad Sci U S A* 2011;108:4516-4522.
- 3) Chelius MK, Triplett EW. The Diversity of Archaea and Bacteria in Association with the Roots of *Zea mays* L. *Microb Ecol.* 2001;41:252-263.
- 4) Bodenhausen N, Horton MW, Bergelson J. Bacterial communities associated with the leaves and the roots of *Arabidopsis thaliana*. *PLoS One.* 2013;8:e56329.

アンプリコンシーケンス解析（細菌・アーキア）

特 長

- ・土壌、環境水から培養液、発酵食品といった**幅広い検体に対応**
- ・検体のDNA抽出からデータ解析までの一括対応、抽出済DNAでの受入、fastqデータ納品（解析なし）など、多様なニーズに対応（1検体から申込み可能）
- ・解析ソフトウェアは2種類から選択可能
 - セット1: Metagenome@KIN（データベース『RDP』および『テクノスルガ・ラボ 微生物同定データベース』）
 - セット2: QIIME2（データベースは『Greengenes』あるいは『SILVA』のどちらかを選択可能）
- ・DNA抽出からデータ解析まで全て**当社内で作業**

概 要

土壌、環境水などの多様な生物種が混在する検体中の生物群集を解析する優れた方法のひとつです。生物種が混在する検体から直接抽出した混合DNAについて、検体を識別するためのバーコード配列を付加したプライマーによりPCR増幅～シーケンス解析を行い、一度に数万～数十万の配列を得る手法です。

検体ごとに異なるバーコード配列が付加されているため、数十種類の異なる検体由来の混合DNAを一度に解析しても、バーコード配列をもとに得られた塩基配列がどの検体に由来するかを判別することができます。一度の解析で大量の塩基配列を得ることができることから、短時間でマイナーな細菌の検出も可能です。多検体、多数の塩基配列解析を行う場合のコストパフォーマンスに優れています。

データ解析のソフトウェアは、「Metagenome@KIN」または「QIIME2」の2種類から選択が可能です。

受入可能な検体

検体区分	検体	検体の種類	対象
環境検体	食品	発酵食品、乳酸菌飲料など	細菌・アーキアのDNA
	活性汚泥	発酵槽の汚泥、下水汚泥など	
	土壌	一般土壌、砂、火山灰など	
	発酵検体	堆肥、コンポスト、培養液など	
	環境水	水道水、工業廃水、海水、湖沼水など	
DNA 抽出物	—	PCR 増幅が確認された DNA 抽出物 PCR 増幅が確認できたことを示す電気泳動像を必ずご提供下さい。	

必要検体量・送付方法

検体		必要量	留意点および送付方法
発酵検体	食品	10 g または 100 mL	採取後速やかに 冷蔵 保存、 冷蔵 輸送
	活性汚泥	5 ～ 10 mL	
	土壌	1 ～ 5 g	
	堆肥、コンポストなど	1 ～ 5 g	
	培養液など	5 ～ 10 mL	
環境水	水道水、濁りの少ない河川水など	100 ～ 1000 mL	抽出後速やかに 冷蔵 保存、 冷蔵 輸送
	工業廃水、下水など	50 ～ 500 mL	
DNA 抽出物		濃度 5 ng/μL 総量 30 μL 以上 (1 領域を追加ごとに + 15 μL 以上)	

- ・外洋海水、深海堆積物などの生物量が低いと考えられる検体についてはお問い合わせ下さい。

作業の流れ



※ データ解析の工程はセット1、セット2で異なります。

仕様

解析対象		DNA
対象微生物と遺伝子領域 ^{※1}	細菌	16S rDNA V1 ~ V2 領域
	細菌	16S rDNA V3 ~ V4 領域
	細菌・アーキア	16S rDNA V3 ~ V4 領域
	細菌 / アーキア / Anammox	16S rDNA V3 ~ V4 領域 ^{※8}
	アーキア	16S rDNA V3 ~ V4 領域
	細菌	16S rDNA V5 ~ V7 領域 ^{※3}
	カビ・酵母を対象にした試験も可能です。	
解析機種		MiSeq i100 [®] シリーズ (Illumina)
リード数 ^{※2}		3 万リード以上 / 検体
データ解析 ^{※4}	セット 1 : Metagenome@KIN	RDP ^{※5} およびテクノスルガ・ラボ「微生物同定データベース」
	セット 2 : QIIME2 ^{※6, 7}	Greengenes database ^{※5}
		SILVA database ^{※5}

※1 解析領域の違いによる結果の違いについては、当社では考察しません。

※2 3万リード取得を目安に解析を実施しますが、獲得できる配列数は検体の性状により変動します。

※3 植物由来DNAのPCR増幅を抑制し、細菌DNAを検出しやすくします。

※4 データ解析は、セット1またはセット2のどちらかをご選択下さい。

※5 RDP (Ribosomal Database Project)、Greengenes database、SILVA databaseおよびUNITEは公共の解析データベースです。

※6 セット2 (QIIME2) は一次解析までの報告です。二次解析 (多様性解析、統計解析) は、別途追加解析をご指示下さい。

※7 GreengenesまたはSILVAのどちらかをご選択下さい。データベースの違いによる結果の違いについては、当社では考察しません。

※8 標準仕様のV3~V4領域のプライマー配列の一部を改変し、Anammox菌 (嫌気性アンモニア酸化細菌) の検出効率を上げています。

納品内容 (セット1: Metagenome@KIN)

報告内容	形式
次世代シーケンサー (NGS) によるシーケンス生データ	fastq ファイル
次世代シーケンサー (NGS) によるシーケンスデータ (クオリティフィルタリング、キメラチェック後)	fasta ファイル
データ解析結果 [※]	csv ファイル, html ファイル

※ 詳細は「アンプリコンシーケンスデータ解析 (Metagenome@KIN)」をご参照下さい。

※ ご依頼内容や検体数によって納品されないファイルがあります。

納品内容 (セット2: QIIME2)

報告内容	形式
次世代シーケンサー (NGS) によるシーケンス生データ	fastq ファイル
QIIME2 出力データファイル データ解析 (一次解析) 結果 [※]	代表配列とリード数の一覧 相同性検索結果 (表、バーチャート)
	qzv ファイル

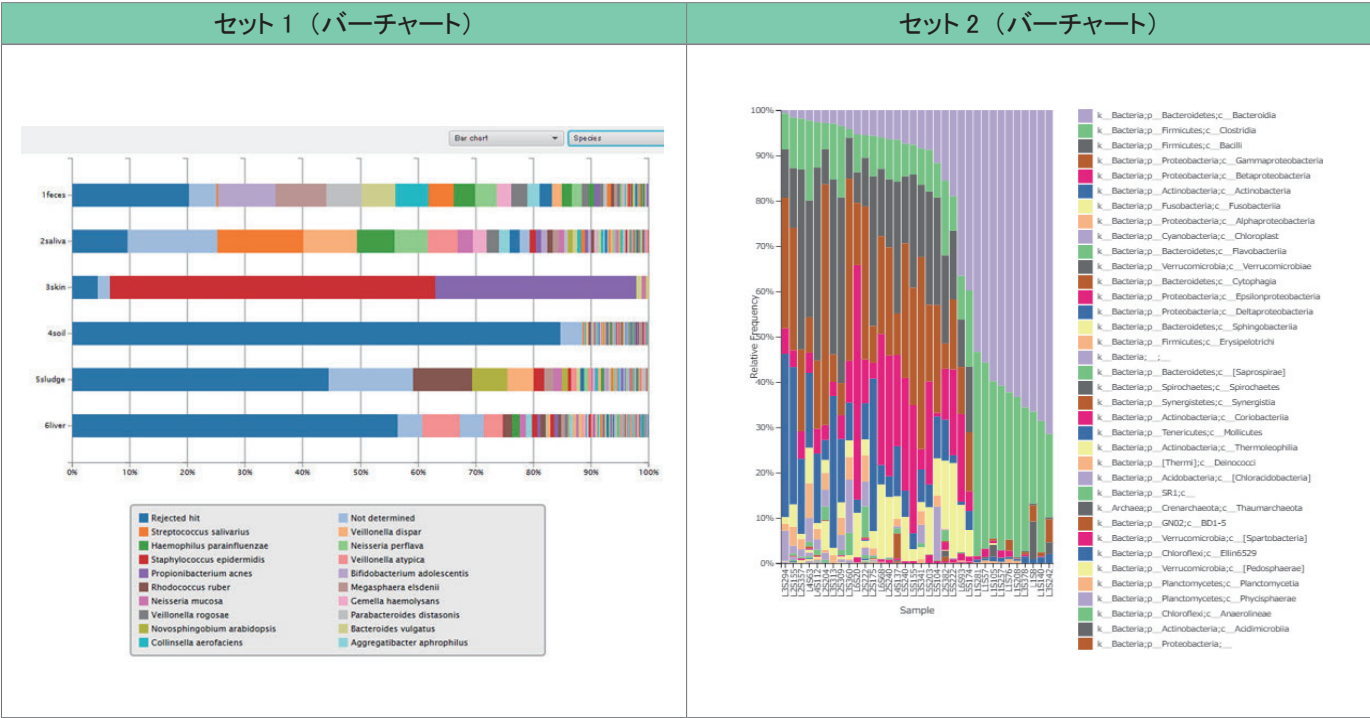
※ 多様性解析や統計解析 (二次解析) は含みません。詳細は「アンプリコンシーケンスデータ解析 (QIIME2)」をご参照下さい。

※ ご依頼内容や検体数によって納品されないファイルがあります。

報告サンプル

セット1は「アンプリコンシーケンスデータ解析 (Metagenome@KIN)」、セット2は「アンプリコンシーケンスデータ解析 (QIIME2)」のページをご参照下さい。

一部抜粋



※ ご依頼内容や検体数によって納品されないファイルがあります。

価格・納期 (セット1:Metagenome@KIN、セット2:QIIME2)

試験項目	依頼形態	単価 (税抜) ※1	目安納期 (DNA 解析) ※2、3
アンプリコンシーケンス解析 (細菌 V1 ~ V2) アンプリコンシーケンス解析 (細菌 V3 ~ V4) アンプリコンシーケンス解析 (細菌・アーキア V3 ~ V4) アンプリコンシーケンス解析 (細菌・アーキア・Anammox V3 ~ V4) アンプリコンシーケンス解析 (アーキア V3 ~ V4) アンプリコンシーケンス解析 (細菌 V5 ~ V7)	検体にてご依頼の場合	19,000 円	24 営業日～
	DNA 抽出物にてご依頼の場合	12,000 円	18 営業日～
	fastq ファイル納品の場合	18,500 円	24 営業日～
	DNA 抽出物にてご依頼、 fastq ファイル納品の場合	11,500 円	18 営業日～

・ セット2をご選択いただいた場合、多様性解析や統計解析(二次解析)が可能です。費用は一式 +30,000円(税抜) 納期は+5営業日となります。

※1 2つ以上の領域を同時に解析する場合には、1領域追加ごとにDNA抽出の重複費用として1検体当たり7,000 (税抜)を減額します。

※2 2つ以上の領域を同時に解析する場合には、1領域追加ごとに納期は+5営業日の追加になります。

※3 PCR増幅が確認されないなど検体の性質に帰因する不具合により作業のやり直しが発生する場合は納期を延長させていただく場合があります。

ご依頼前の同意事項

- ・ メディア (DVD-R) による配送納品のみとなります。
- ・ **ご依頼前の同意事項 (共通) を必ずご確認ください。**
- ・ お預かりした検体を返送する場合、当社は試験前の検体と同等の状態を保証するものではありません。
- ・ ご依頼前の解析手法などの選択についてのご相談には可能な範囲で対応しますが、最終的なご判断はお客様の責任にてお願いします。

アンプリコンシーケンス解析（カビ・酵母）

特 長

- ・土壌、環境水から培養液、発酵食品といった幅広い検体に対応
- ・検体のDNA抽出からデータ解析までの一括対応、抽出済DNAでの受入、fastqデータ納品（解析なし）など、多様なニーズに対応（1検体から申込み可能）
- ・解析ソフトウェアは2種類から選択可能
 - セット1: Metagenome@KIN（データベース『RDP』）
 - セット2: QIIME2（データベース『UNITE』）
- ・DNA抽出からデータ解析まで全て当社内で作業

概 要

土壌、環境水などの多様な生物種が混在する検体中の生物群集を解析する優れた方法のひとつです。生物種が混在する検体から直接抽出した混合DNAについて、検体を識別するためのバーコード配列を付加したプライマーによりPCR増幅～シーケンス解析を行い、一度に数万～数十万の配列を得る手法です。

検体ごとに異なるバーコード配列が付加されているため、数十種類の異なる検体由来の混合DNAを一度に解析しても、バーコード配列をもとに得られた塩基配列がどの検体に由来するかを判別することができます。一度の解析で大量の塩基配列を得ることができることから、短時間でマイナーなカビ・酵母の検出も可能です。多検体、多数の塩基配列解析を行う場合のコストパフォーマンスに優れています。

データ解析のソフトウェアは、「Metagenome@KIN」または「QIIME2」の2種類から選択が可能です。

受入可能な検体

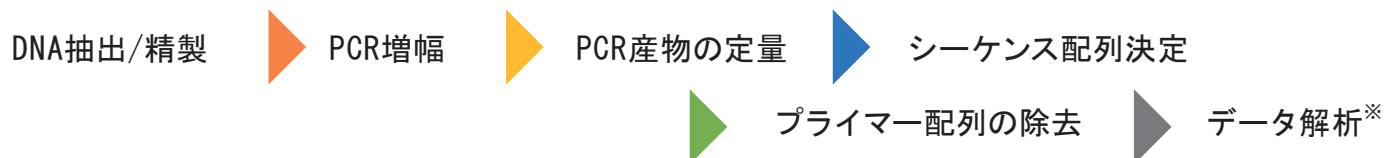
検体区分	検体	検体の種類	対象
環境検体	食品	発酵食品、乳酸菌飲料など	カビ・酵母の DNA
	活性汚泥	発酵槽の汚泥、下水汚泥など	
	土壌	一般土壌、砂、火山灰など	
	発酵検体	堆肥、コンポスト、培養液など	
	環境水	水道水、工業廃水、海水、湖沼水など	
DNA 抽出物	—	PCR 増幅が確認された DNA 抽出物 PCR 増幅が確認できたことを示す電気泳動像を必ずご提供下さい。	

必要検体量・送付方法

検体		必要量	留意点および送付方法
食品		10 g または 100 mL	食品の保存温度で保存、輸送
活性汚泥		5 ～ 10 mL	採取後速やかに冷蔵保存、冷蔵輸送
土壌		1 ～ 5 g	
発酵検体	堆肥、コンポストなど	1 ～ 5 g	
	培養液など	5 ～ 10 mL	
環境水	水道水、濁りの少ない河川水など	100 ～ 1000 mL	
	工業廃水、下水など	50 ～ 500 mL	
DNA 抽出物		濃度 5 ng/μL 総量 30 μL 以上 (1 領域追加ごとに + 15 μL 以上)	抽出後速やかに冷蔵保存、冷蔵輸送

- ・外洋海水、深海堆積物などの生物量が低いと考えられる検体についてはお問い合わせ下さい。

作業の流れ



※ データ解析の工程はセット1、セット2で異なります。

仕 様

対象微生物	カビ・酵母	
	細菌・アーキアを対象にした試験も可能です。	
解析対象	DNA	
遺伝子領域 ^{※1}	ITS2 領域	
解析機種	MiSeq i100 [®] シリーズ (Illumina)	
リード数 ^{※2}	3 万リード以上 / 検体	
データ解析 ^{※3}	セット 1 : Metagenome@KIN	RDP ^{※4}
	セット 2 : QIIME2 ^{※5}	UNITE ^{※4}

※1 解析領域の違いによる結果の違いについては、当社では考察しません。

※2 3万リード取得を目安に解析を実施しますが、獲得できる配列数は検体の性状により変動します。

※3 データ解析は、セット1またはセット2のどちらかをご選択下さい。

※4 RDP (Ribosomal Database Project)、Greengenes database、SILVA databaseおよびUNITEは公共の解析データベースです。

※5 セット2 (QIIME2) は一次解析までの報告です。二次解析 (多様性解析、統計解析) は、別途追加解析のご指示を下さい。

納品内容 (セット1:Metagenome@KIN)

報告内容	形式
次世代シーケンサー (NGS) によるシーケンス生データ	fastq ファイル
次世代シーケンサー (NGS) によるシーケンスデータ (クオリティーフィルタリング、キメラチェック後)	fasta ファイル
データ解析結果 [※]	csv ファイル、html ファイル

※ 詳細は「アンプリコンシーケンスデータ解析 (Metagenome@KIN)」をご参照下さい。

※ ご依頼内容や検体数によって納品されないファイルがあります。

納品内容 (セット2:QIIME2)

報告内容	形式
次世代シーケンサー (NGS) によるシーケンス生データ	fastq ファイル
QIIME2 出力データファイル データ解析 (一次解析) 結果 [※]	qzv ファイル
代表配列とリード数の一覧 相同性検索結果 (表、バーチャート)	

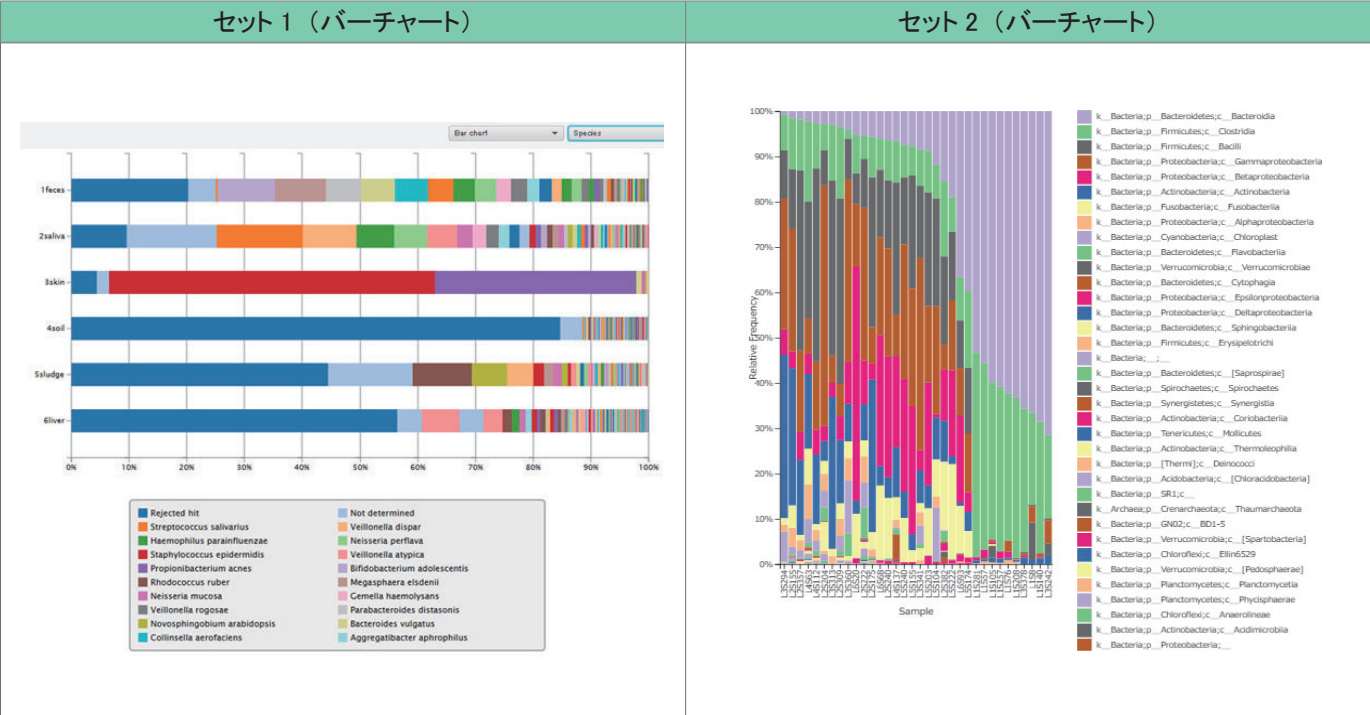
※ 多様性解析や統計解析 (二次解析) は含みません。詳細は「アンプリコンシーケンスデータ解析 (QIIME2)」をご参照下さい。

※ ご依頼内容や検体数によって納品されないファイルがあります。

報告サンプル

セット1は「アンプリコンシーケンスデータ解析 (Metagenome@KIN)」、セット2は「アンプリコンシーケンスデータ解析 (QIIME2)」のページをご参照下さい。

一部抜粋



※ ご依頼内容や検体数によって納品されないファイルがあります。

価格・納期 (セット1:Metagenome@KIN、セット2:QIIME2)

試験項目	依頼形態	単価 (税抜)※1	目安納期 (DNA 解析) ※2、3
アンプリコンシーケンス解析 (カビ・酵母)	検体にてご依頼の場合	19,000 円	24 営業日～
	DNA 抽出物にてご依頼の場合	12,000 円	18 営業日～
	fastq ファイル納品の場合	18,500 円	24 営業日～
	DNA 抽出物にてご依頼、 fastq ファイル納品の場合	11,500 円	18 営業日～

- ・ セット2をご選択いただいた場合、多様性解析や統計解析(二次解析)が可能です。費用は一式 +30,000円(税抜) 納期は+5営業日となります。
- ※1 2つ以上の領域を同時に解析する場合には、1領域追加ごとにDNA抽出の重複費用として1検体当たり7,000 (税抜)を減額します。
- ※2 2つ以上の領域を同時に解析する場合には、1領域追加ごとに納期は+5営業日の追加になります。
- ※3 PCR増幅が確認されないなど検体の性質に帰因する不具合により作業のやり直しが発生する場合は納期を延長させていただく場合があります。

ご依頼前の同意事項

- ・ メディア (DVD-R) による配送納品のみとなります。
- ・ **ご依頼前の同意事項 (共通) を必ずご確認ください。**
- ・ お預かりした検体を返送する場合、当社は試験前の検体と同等の状態を保証するものではありません。
- ・ ご依頼前の解析手法などの選択についてのご相談には可能な範囲で対応しますが、最終的なご判断はお客様の責任にてお願いします。

微生物群集構造解析(菌叢解析)

リアルタイムPCR解析（定量）

特 長

- ・当社のオリジナルを含む多数のプライマーセットを保有
- ・食品関連や環境関連の微生物を対象
- ・微量な検体からでも検出可能

概 要

検体中に含まれる特定の帰属分類群の遺伝子を、リアルタイムPCRシステムにより指数関数的に増幅するDNAの量をリアルタイムにモニタリングします。

全細菌や全アーキアのコピー数と比較することで、検体中の標的菌群の割合を推定可能です。

受入可能な検体

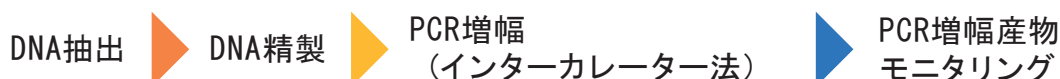
検体区分	検体	検体の種類	対象
環境検体	食品	発酵食品、乳酸菌飲料など	細菌、アーキア、カビ・酵母の DNA
	活性汚泥	発酵槽の汚泥、下水汚泥など	
	土壌	一般土壌、砂、火山灰など	
	発酵検体	堆肥、コンポスト、培養液など	
	環境水	水道水、工業廃水、海水、湖沼水など	
DNA 抽出物	—	PCR 増幅が確認された DNA 抽出物 PCR 増幅が確認できたことを示す電気泳動像を必ずご提供下さい。	

必要検体量・送付方法

検体		必要量	留意点および送付方法
食品		10 g または 100 mL	食品の保存温度で保存、輸送
活性汚泥		5 ～ 10 mL	採取後速やかに冷蔵保存、冷蔵輸送
土壌		1 ～ 5 g	
発酵検体	堆肥、コンポストなど	1 ～ 5 g	
	培養液など	5 ～ 10 mL	
環境水	水道水、濁りの少ない河川水など	100 ～ 1000 mL	
	工業廃水、下水など	50 ～ 500 mL	
DNA 抽出物		濃度 10 ng/μL 総量 30 μL 以上 (1 プライマー追加ごとに + 15 μL 以上)	抽出後速やかに冷蔵保存、冷蔵輸送

・外洋海水、深海堆積物などの生物量が少ないと考えられる検体についてはお問い合わせ下さい。

作業の流れ



仕 様

リアルタイムPCR装置を用いて、ご指定いただいたプライマーでPCR増幅し、目的とする微生物のDNA量（コピー数）を絶対定量します。

納品内容・報告サンプル

リアルタイム PCR 解析

報告内容

付属データ

遺伝子コピー数（定量値）

Excel ファイル

表 1. 検体 1 g あたりの標的遺伝子のコピー数

	全真正細菌	<i>Bifidobacterium</i> 属	<i>Bacteroides</i> 属
	16S rRNA	16S rRNA	16S rRNA
SIID00000-01	2.05×10 ¹²	4.38×10 ¹¹	1.54×10 ¹¹
SIID00000-02	7.71×10 ¹¹	7.37×10 ¹⁰	1.12×10 ¹¹

	<i>Clostridium</i> cluster IV	<i>C. perfringens</i>
	16S rRNA	16S rRNA
SIID00000-01	3.38×10 ¹¹	4.38×10 ⁶
SIID00000-02	1.59×10 ¹¹	定量下限値以下

反復数：duplicate、ばらつき：Δ < 0.5^⑤

スタンダードの相関係数：R² ≥ 0.990

表 2. 検体の定量下限値（copies/g）

SIID	定量下限値
SIID00000-01	1.25×10 ⁶
SIID00000-02	2.50×10 ⁶

定量下限値は使用した検体量、抽出 DNA 量、DNA 希釈倍率から算出されるため、検体により異なります。

補足表.

標的菌群	標的遺伝子	コピー数
全細菌	16S rRNA	1-17
<i>Bifidobacterium</i> 属	16S rRNA	2-5
<i>Bacteroides</i> 属	16S rRNA	3-7
<i>Clostridium</i> cluster IV	16S rRNA	2-4
<i>C. perfringens</i>	16S rRNA	8-10

当社保有プライマー

当社で保有しているプライマーについては、巻末の「リアルタイムPCR用 プライマーリスト」をご確認下さい。オリジナルプライマーは配列の公開を行っておりませんので、ご了承下さい。

価格・納期

試験項目	内容（解析例）		単位	単価（税抜）	納期
リアルタイム PCR 解析（定量）	検体数 1	1 プライマーの場合	検体	45,000 円	15 営業日～
	検体数 2	2 プライマーの場合		45,000 円	
	検体数 5	2 プライマーの場合		31,000 円	
	検体数 10	2 プライマーの場合		26,000 円	
<オプション> プライマー設計	—		式	45,000 円	+ 10 営業日
<オプション> スタンダード作製	—		式	104,000 円	お問い合わせ下さい

参考文献

- 1) Nakayama J, Tanaka S, Songjinda P, Tateyama A, Tsubouchi M *et al.* Analysis of infant intestinal microbiota by various kinds of molecular approaches -Toward large scale epidemiological investigations correlating allergy development with intestinal microbiota-. *J Intestinal Microbiol* 2007;21:129-142.
- 2) Farrelly V, Rainey FA, Stackebrandt E. Effect of genome size and *rrn* gene copy number on PCR amplification of 16S rRNA genes from a mixture of bacterial species. *Appl Environ Microbiol* 1995;61:2798-2801.
- 3) Fogel G, Collins C, Li J, Brunk C. Prokaryotic genome size and SSU rDNA copy number: estimation of microbial relative abundance from a mixed population. *Microb Ecol* 1999;38:93-113.

ご依頼前の同意事項

- ・新たにプライマーを合成する場合、合成費用や菌株購入費用、スタンダード作製費用が必要となります。
- ・リアルタイムPCR解析の16S rRNA遺伝子は、細菌種により保有している標的遺伝子の量（コピー数）が異なるため、16S rDNA のコピー数が実際の細菌数と等しいわけではない点を考慮すべきであると考えられています¹⁻³⁾。
- ・ご依頼前の同意事項（共通）を必ずご確認ください。

特異プライマーPCR解析（定性）

特 長

- ・当社のオリジナルを含む多数のプライマーセットを保有
- ・食品関連や環境関連の微生物を対象
- ・様々な検体に対応

概 要

検体中に含まれる特定の帰属分類群や特定機能遺伝子をターゲットにしたプライマーセットを用いて、PCR増幅、電気泳動を行い、目的塩基長のバンドが出現することを確認して定性を行う試験です。

受入可能な検体

検体区分	検体	検体の種類	対象
環境検体	食品	発酵食品、乳酸菌飲料など	細菌、アーキア、カビ・酵母の DNA
	活性汚泥	発酵槽の汚泥、下水汚泥など	
	土壌	一般土壌、砂、火山灰など	
	発酵検体	堆肥、コンポスト、培養液など	
	環境水	水道水、工業廃水、海水、湖沼水など	
DNA 抽出物	—	PCR 増幅が確認された DNA 抽出物 PCR 増幅が確認できたことを示す電気泳動像を必ずご提供下さい。	

必要検体量・送付方法

検体		必要量	留意点および送付方法
食品		10 g または 100 mL	食品の保存温度で保存、輸送
発酵検体	活性汚泥	5 ～ 10 mL	採取後速やかに冷蔵保存、冷蔵輸送
	土壌	1 ～ 5 g	
	堆肥、コンポストなど	1 ～ 5 g	
	培養液など	5 ～ 10 mL	
環境水	水道水、濁りの少ない河川水など	100 ～ 1000 mL	
	工業廃水、下水など	50 ～ 500 mL	
DNA 抽出物		濃度 10 ng/μL 総量 30 μL 以上 (1 プライマー追加ごとに + 15 μL 以上)	抽出後速やかに冷蔵保存、冷蔵輸送

- ・外洋海水、深海堆積物などの生物量が少ないと考えられる検体についてはお問い合わせ下さい。

作業の流れ



仕 様

ご指定いただいたプライマーを用いてPCR増幅します。特異プライマーPCR増幅産物の有無をアガロースゲル電気泳動により確認し、電気泳動後のゲル画像を報告します。

納品内容・報告サンプル

特異プライマー PCR 解析	
報告内容	付属データ
電気泳動像	jpg ファイル

M1234



電気泳動像

当社保有プライマー

当社で保有しているプライマーについては、巻末の「リアルタイムPCR、特異プライマーPCR用 プライマーリスト」をご確認下さい。オリジナルプライマーは配列の公開を行っておりませんので、ご了承ください。

価格・納期

試験項目	内容（解析例）		単位	単価（税抜）	納期
特異プライマー PCR 解析 （定性）	検体数 1	1 プライマーの場合	検体	36,000 円	15 営業日～
	検体数 2	2 プライマーの場合	検体	34,000 円	
	検体数 2	3 プライマーの場合	検体	38,000 円	
	検体数 5	5 プライマーの場合	検体	39,000 円	
<オプション> プライマー設計	—		式	45,000 円	+ 10 営業日

ご依頼前の同意事項

- ・ 新たにプライマーを合成する場合、合成費用が必要となります。
- ・ 陽性対象（ポジティブコントロール）をあわせて実施する場合にはお問い合わせ下さい。
- ・ ご依頼前の同意事項（共通）を必ずご確認ください。

データ解析

データ解析..... 32

アンプリコンシーケンスデータ解析 (Metagenome@KIN) 33

アンプリコンシーケンスデータ解析 (QIIME2)..... 36

Rによるデータ解析 38

PICRUSt2による予測メタゲノム解析..... 41

アンブリコンシーケンスデータ解析 (Metagenome@KIN)

特 長

- ・細菌・アーキア16S rDNAは、RDP (Ribosomal database project) とテクノスルガ・ラボ「微生物同定データベース」の2種類で解析
- ・微生物同定データベースは、BLASTのcut-off条件を相同率97%からご指定の値に変更可能
- ・3検体以上の場合は、クラスター分析および主成分分析まで実施

概 要

次世代シーケンサー (Next Generation Sequencer:NGS) を用いたアンブリコンシーケンス解析により得られた配列データの帰属分類群を推定するデータ解析です。

受入可能な検体

検体の種類	形式
次世代シーケンサー (NGS) によるシーケンス生データ※	fastq ファイル
次世代シーケンサー (NGS) によるシーケンス生データ※	fasta ファイル

※ 当社仕様で実施していないシーケンスデータの場合は、お問い合わせ下さい。

作業の流れ



データ解析

仕 様

解析データベース		推定可能な分類階級
細菌・アーキア	RDP	界～属
	テクノスルガ・ラボ「微生物同定データベース」※1,2	界～種
カビ・酵母	RDPのみ	界～種

※1 国立遺伝学研究所 生命情報・DDBJ研究センターのご支援の下、当社の微生物同定システム「ENKI」のために構築したオリジナルデータベースを、アンブリコンシーケンス解析用にカスタマイズしています。国際原核生物命名規約に基づく細菌・アーキア基準株由来の16S rDNAに加え、生態学的に重要な難培養微生物の配列も一部収録しています。また、アンブリコンシーケンス解析結果に反映できるよう当社独自に編集した配列名も収録しています。

※2 相同率97%での解析を推奨および標準設定としていますが、変更も可能ですのでお問い合わせ下さい。

納品内容 (Metagenome @ KIN が ver2.3 の場合)

報告内容※1		形式
シーケンスデータ	プライマー配列の除去、ペアエンド結合、クオリティーの低い配列を除去した後の fasta 形式の配列データです。	fasta
ドーナツグラフ	検体の菌叢を構成する帰属分類群を界（内側）～種（外側）へ一つの図として表示します。	html
バーチャート	分類階層ごとの帰属分類群の内訳を並べて表示します。	csv, html
クラスター分析※2	デンドログラムおよびヒートマップ画像が分類階級ごとに作成されます。	png
主成分分析※2	主成分の二次元プロット画像が分類階級ごとに作成されます。検体間の相違を散布図で示します。	csv, png, html
アルファ多様性	分類階級ごとのアルファ多様性を表で示します。	tsv

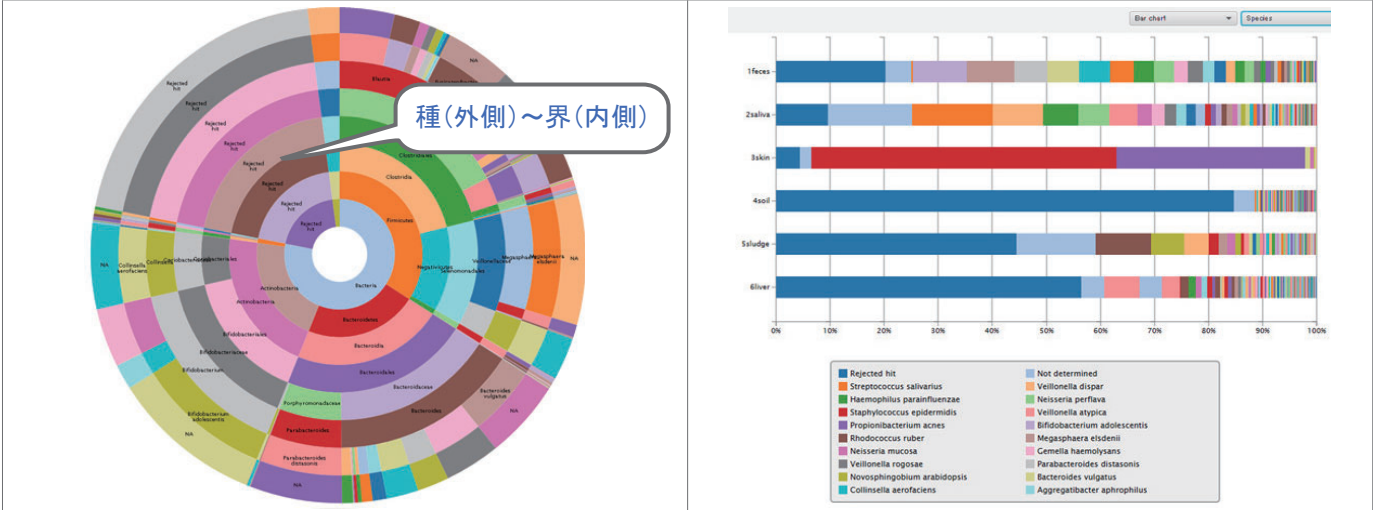
※1 ご依頼内容や検体数によって納品されないファイルがあります。

※2 群平均法 (UPGMA) およびピアソンの相関係数によるクラスター分析および主成分分析となります。論文投稿を前提とした解像度ではありません。論文投稿を目的とする場合には、別途「アンブリコンシーケンスデータ解析 (QIIME2)」または「統計分析ソフトRによるデータ解析」をご利用下さい。

アンプリコンシーケンスデータ解析 (Metagenome@KIN)※1、2

	species	genus	family	order	class	phylum
M01775:5:(	1303 Streptococcus oralis	1301 Streptococ	1300 Streptococ	186826 Lactobacilli	91061 Bacilli	1239 Firmicutes
M01775:5:(	423477 Veillonella rogosae	29465 Veillonella	31977 Veillonellac	909929 Selenomon	909932 Negativicut	1239 Firmicutes
M01775:5:(	423477 Veillonella rogosae	29465 Veillonella	31977 Veillonellac	909929 Selenomon	909932 Negativicut	1239 Firmicutes
M01775:5:(	28132 Prevotella melaninogenica	838 Prevotella	171552 Prevotellac	171549 Bacteroida	200643 Bacteroidia	976 Bacteroides
M01775:5:(	29466 Veillonella parvula	29465 Veillonella	31977 Veillonellac	909929 Selenomon	909932 Negativicut	1239 Firmicutes
M01775:5:(	172042 Rothia aeria	32207 Rothia	1268 Micrococci	2037 Actinomycet	1760 Actinobacteria	201174 Actinobacteria
M01775:5:(	423477 Veillonella rogosae	29465 Veillonella	31977 Veillonellac	909929 Selenomon	909932 Negativicut	1239 Firmicutes
M01775:5:(	28137 Prevotella veroralis	838 Prevotella	171552 Prevotellac	171549 Bacteroida	200643 Bacteroidia	976 Bacteroides
M01775:5:(	113107 Streptococcus australis	1301 Streptococ	1300 Streptococ	186826 Lactobacilli	91061 Bacilli	1239 Firmicutes

相同性検索結果

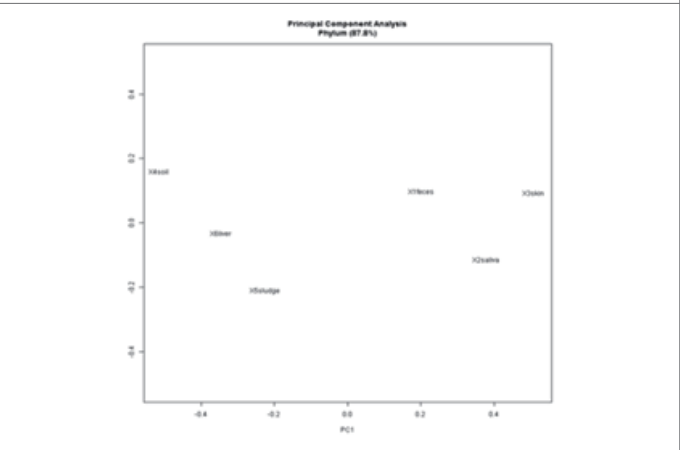
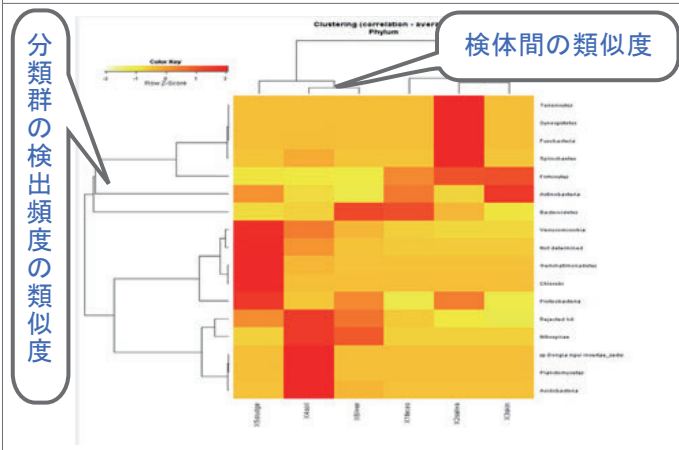


ドーナツグラフ

検体の菌叢を構成する帰属分類群を界（内側）～属または種（外側）へ一つの図として表示します。html ファイルなので、グラフにカーソルを合わせ、クリックすることで分類群の名前や分類階級をハイライトすることもできます。群集構造全体の理解を視覚的にサポートします。

バーチャート

全検体の、ある分類階級における帰属分類群の内訳を並べて表示します。検体間の群集構造の違いを俯瞰する際に便利です。



クラスター分析※3

デンドログラムおよび、ヒートマップ画像が分類階級ごとに作成されます。

主成分分析※3

主成分の二次元プロット画像が分類階級ごとに作成されます。検体間の相違を散布図で示します。

※1 ご依頼内容や検体数によって納品されないファイルがあります。
※2 テクノスルガ・ラボ「微生物同定データベース」による界～種レベルの解析例です。
※3 論文投稿を前提とした解像度ではありません。論文投稿を目的とする場合には、別途「アンプリコンシーケンスデータ解析 (QIIME2)」または「統計分析ソフトRによるデータ解析」をご利用下さい。

価格・納期

試験項目	解析データベース	検体数	単位	単価（税抜）	納期
アンプリコンシーケンス データ解析 (Metagenome@KIN)	RDP	1 ～	式	30,000 円	10 営業日
	テクノスルガ・ラボ 「微生物同定データベース」	1 ～		40,000 円	10 営業日
	RDP および テクノスルガ・ラボ 「微生物同定データベース」	1 ～		60,000 円	10 営業日

ご依頼前の同意事項

- ・メディア (DVD-R) による配送納品のみとなります。
- ・ご依頼前の同意事項（共通）を必ずご確認ください。
- ・ご依頼前の解析手法などの選択についてのご相談には可能な範囲で対応しますが、最終的なご判断はお客様の責任にてお願いします。

アンプリコンシーケンスデータ解析 (QIIME2)

特 長

- Amplicon Sequence Variant (ASV) 法により、**相同率の高い近縁種同士の識別が可能**
- 学術論文で求められる**二次解析（多様性解析や統計解析の機能）が充実**

概 要

QIIME2¹⁾ は代表配列の決定から多様性解析まで、アンプリコンシーケンス解析に必要なソフトウェアをまとめたオープンソースの解析パイプラインです。解析結果はqzvという独自のファイル形式になり、専用のwebサイトQIIME 2 View²⁾で閲覧でき、前身のQIIME1³⁾と比べデータのアウトプットにおいてGUI的な側面も強化されています。

QIIME2がQIIME1と大きく異なる点は、代表配列の決定方法にあります。QIIME1で用いられるOperational Taxonomic Unit (OTU) 化は、一定の相同率（例えば97%以上）の配列同士を同種由来とみなして代表配列をまとめていく方法です。一方、QIIME2のASV法は、数塩基の差異しかない配列同士について、その差異がPCRやシーケンシングの過程で生じたエラーに起因するのか、種内変異等の生物学的なイベントによるものなのかを統計学的に区別する代表配列決定法です。これにより、今まで「相同率97%だが実は別種であった可能性のある配列」を区別することで、より解像度の高いデータ解析を可能としています。

参考文献

- 1) Bolyen E, Rideout JR, Dillon MR, Bokulich NA, Abnet CC, *et al.* Reproducible, interactive, scalable and extensible microbiome data science using QIIME 2. *Nat Biotechnol* 2019;37:852-857.
- 2) <https://view.qiime2.org/>
- 3) Caporaso JG, Kuczynski J, Stombaugh J, Bittinger K, Bushman FD, *et al.* QIIME allows analysis of high-throughput community sequencing data. *Nat Methods* 2010;7:335-336.

受入可能な検体※1

検体の種類	形式※2
次世代シーケンサー (NGS) によるシーケンス生データ※3	fastq ファイル

※1 ご依頼の際、依頼書に付属のExcelファイルにSampleType（群分け情報）をご記入下さい。

※2 fastq以外のファイル形式については、お問い合わせ下さい。

※3 当社仕様で実施していないシーケンスデータの場合は、お問い合わせ下さい。

作業の流れ



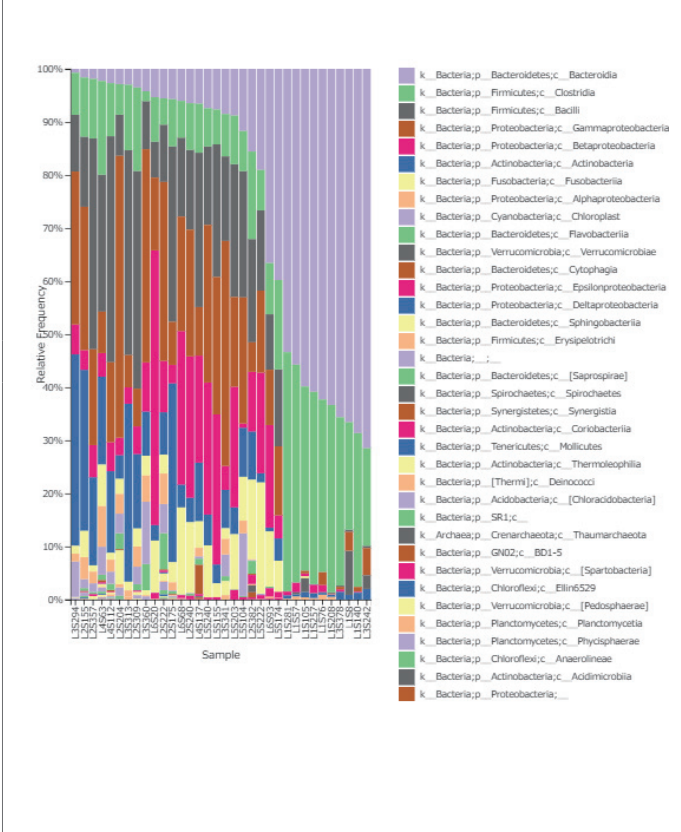
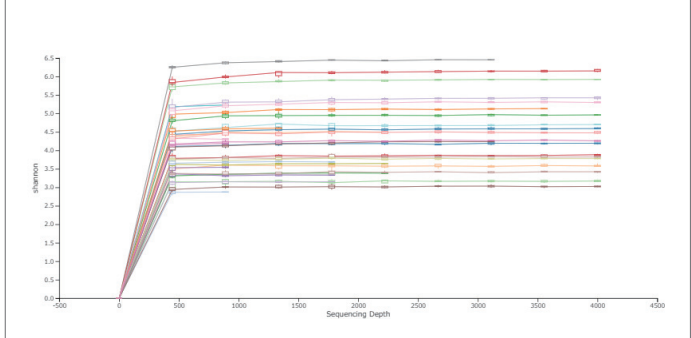
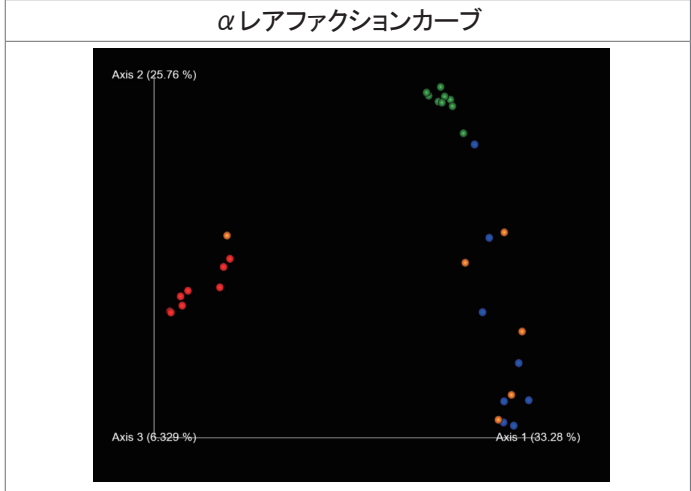
仕 様

一次解析	
ASV アルゴリズム	DADA2
解析データベース	細菌・アーキア：Greengenes あるいは SILVA カビ・酵母：UNITE
推定可能な分類階級	界～種
二次解析	
α 多様性指数	chao1, shannon, simpson
α 多様性指数の統計解析	Kruskal-Wallis 検定
β 多様性の距離測定法	unweighted-unifrac, weighted-unifrac, bray-curtis
β 多様性の統計解析	ANOSIM 検定
2D 主座標プロット描画	R (tidyverse, qiime2R)
ヒートマップ・クラスター分析	Ward 法

納品内容

報告内容		形式
一次解析	代表配列とリード数の一覧	qzv ファイル
	相同性検索結果（表、バーチャート）	
二次解析	α レアファクションカーブおよび統計解析結果（箱ひげ図）	qzv ファイル
	3D 主座標分析結果および統計解析結果（箱ひげ図）	qzv ファイル
	2D 主座標プロット	pdf ファイル
	ヒートマップ・クラスター分析結果	qzv ファイル

報告サンプル

アンブリコンシーケンスデータ解析（QIIME2）	
	 αレアファクションカーブ 
バーチャート	3D 主座標分析 (Principal Coordinate Analysis, PCoA)

価格・納期

試験項目	検体数	単位	単価（税抜）	納期
アンブリコンシーケンスデータ解析（QIIME2） 一次解析	3 ～	式	30,000 円	10 営業日
アンブリコンシーケンスデータ解析（QIIME2） 二次解析	3 ～	式	30,000 円	10 営業日
アンブリコンシーケンスデータ解析（QIIME2） 一次解析～二次解析	3 ～	式	60,000 円	10 営業日

・ 遺伝子機能の予測解析をご希望の場合には、「PICRUSt2による予測メタゲノム解析」をご参照下さい。

ご依頼前の同意事項

- ・ メディア（DVD-R）による配送納品のみとなります。
- ・ **ご依頼前の同意事項（共通）を必ずご確認ください。**
- ・ ご依頼前の解析手法などの選択についてのご相談には可能な範囲で対応しますが、最終的なご判断はお客様の責任にてお願いします。

データ解析

Rによるデータ解析

特 長

- ・群集組成をヒートマップで表し、検体間のユークリッド距離に基づきクラスター分析（ヒートマップ・クラスター分析）
- ・群集組成の特徴を二変量に縮約し、二次元プロット図で表現（主成分分析）
- ・群集組成の異同を検体間または群間で比較（検体間・群間比較 / ペン図）
- ・複数検体間または群間のデータのばらつきを可視化し、有意差検定を実施（群間比較 / 箱ひげ図）

概 要

アンプリコンシーケンス・データ解析、QIIME2解析、T-RFLPフローラ解析（MN法）の各結果を基に、論文投稿や学会発表向けに必要な作図や統計学的検定を統計分析ソフトウェアR^{1,2)}で実施します。

参考文献

- 1) R Core Team. R: A language and environment for statistical computing. *R Foundation for Statistical Computing* 2013.
- 2) <https://r-project.org>

受入可能な検体

検体の種類	形式 ^{※1}
アンプリコンシーケンス・データ解析結果 (Metagenome@KIN)	csvファイル
QIIME2（一次解析）出力データファイル ^{※2} （全検体の代表配列とリード数含む）	qza, qzv ファイル
T-RFLP フローラ解析結果	Excel ファイル

※1 当社仕様で実施していないデータ解析をご希望の場合は、お問い合わせ下さい。

※2 QIIME1による出力結果での解析も承りますので、お問い合わせ下さい。

作業の流れ

データフォーマット  Rによる解析

仕 様

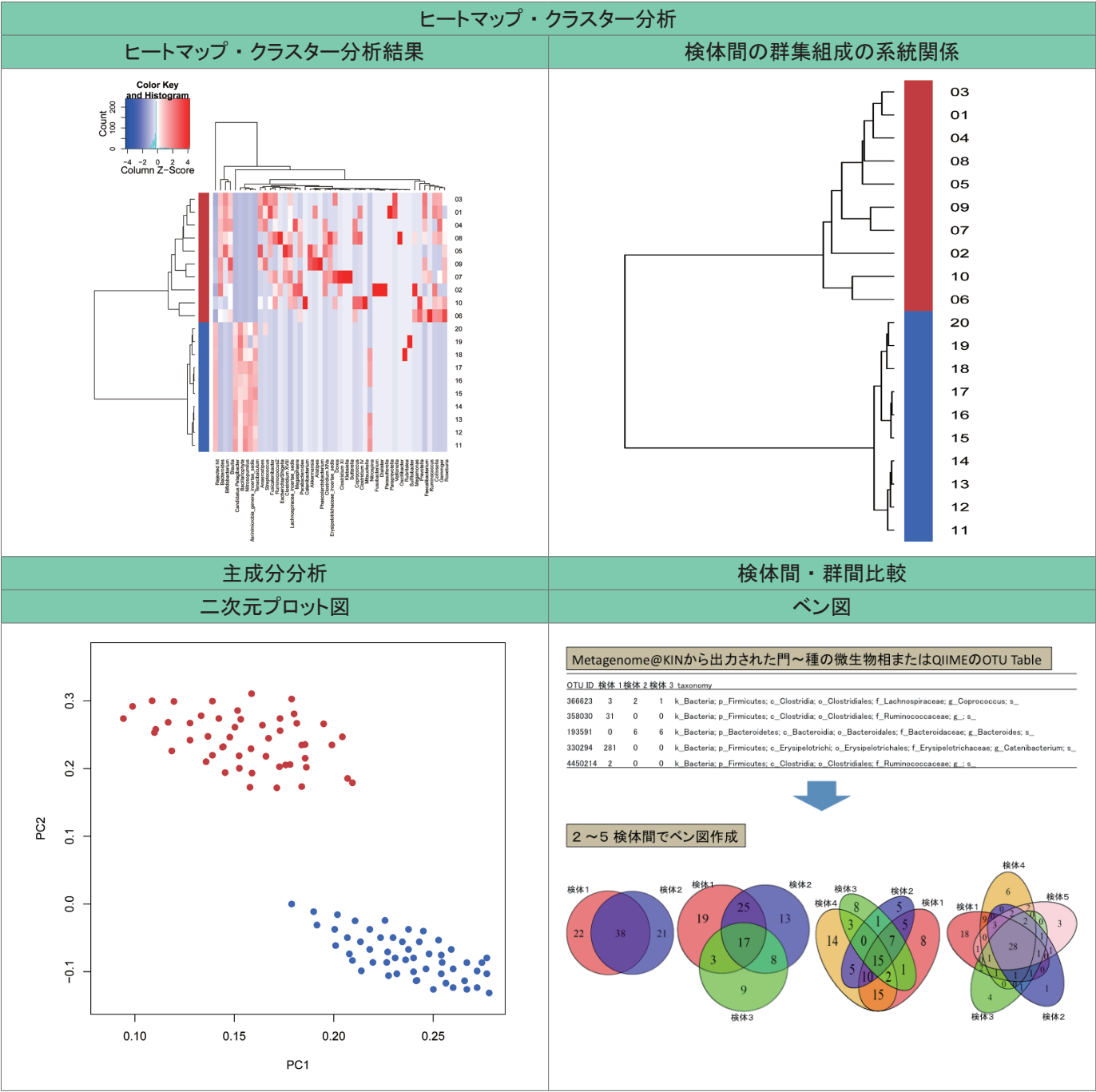
試験項目	内容
ヒートマップ・クラスター分析	検体間のユークリッド距離を求め、Ward 法によりクラスターリングします。0.1%以上の各帰属分類群の構成比率を Z スコアに換算し、色の濃淡で表現します。
主成分分析	検体間の相関行列を基に、主成分分析を行います。群集組成の特徴を、分散が最も大きい二変量に縮約し、二次元プロットへ投影します。
検体間・群間比較（ペン図）	2 検体～ 5 検体間における共通または特異的な帰属分類群を抽出し、菌叢の異同をペン図で表現します。被験者の性別や抗生物質の投与などで群分けすることで、群間比較に使用します。
群間比較（箱ひげ図 [※] ）	複数検体間または群間でデータのばらつきを可視化、比較します。t 検定、ノンパラメトリック検定や多重比較検定などの統計学的有意差検定を行います。

※ QIIME1の二次解析結果（ α 多様性解析、 β 多様性解析）での解析をご希望の場合は、お問い合わせ下さい。

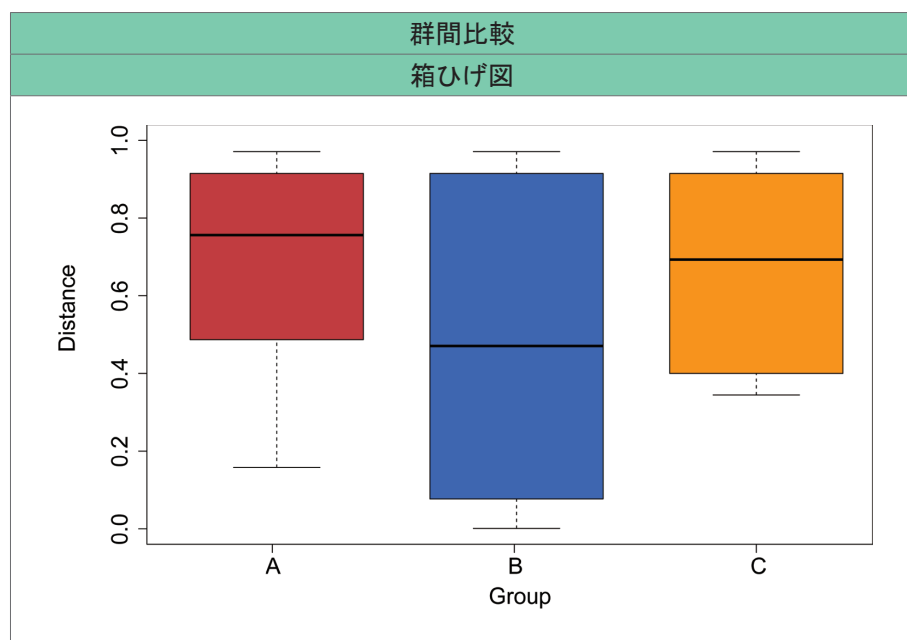
納品内容

試験項目	納品内容	形式
ヒートマップ・クラスター分析	ヒートマップ・クラスター分析結果	tiff ファイル
	検体間の群集組成の系統関係	
主成分分析	二次元プロット図	tiff ファイル
検体間・群間比較（ベン図）	ベン図	tiff ファイル
	描画元データ	Excel ファイル
群間比較（箱ひげ図）	箱ひげ図	tiff ファイル
	統計学的有意差検定結果	Excel ファイル

報告サンプル



データ解析



価格・納期

試験項目	検体数	単位	単価（税抜）	納期
ヒートマップ・クラスター分析	3 ～	式	20,000 円	10 営業日
主成分分析	3 ～	式	20,000 円	10 営業日
ベン図	2 ～	式	20,000 円	10 営業日
箱ひげ図作成	2 ～	式	20,000 円	10 営業日

ご依頼前の同意事項

- ・ オプション解析のため、図表データのための納品となります。
- ・ メディア（DVD-R）による配送納品のみとなります。
- ・ **ご依頼前の同意事項（共通）を必ずご確認ください。**
- ・ ご依頼前の解析手法などの選択についてのご相談には可能な範囲で対応しますが、最終的なご判断はお客様の責任にてお願いします。

PICRUSt2による予測メタゲノム解析

特 長

- ・16S rDNAのアンプリコンシーケンス解析データ (QIIME2) から、**遺伝子の機能を予測**
- ・予測された遺伝子に付与された2種類の機能分類に基づく遺伝子組成を推定
Clusters of Orthologous Genes (COG): COGデータベースに基づく機能分類
Enzyme Commission numbers (EC): 酵素の種類に基づいた機能分類

概 要

予測メタゲノム解析は、検体に含まれる細菌叢が持つ遺伝子の機能を予測する解析手法です。

16S rRNA遺伝子(16S rDNA)のアンプリコンシーケンス解析データを用いて解析することができ、ショットガンメタゲノム解析の代替法として利用されています。PICRUSt2¹⁾ による解析では、QIIME2で出力した代表配列とリード数を基に、細菌叢が持つ遺伝子の機能を予測します。

参考文献

- 1) Douglas GM, Maffei VJ, Zaneveld JR, Yurgel SN, Brown JR, *et al.* PICRUSt2 for prediction of metagenome functions. *Nat. Biotechnol.* 2020 ;38(6):685-688.

受入可能な検体

検体の種類	形式
QIIME2 (一次解析) 出力データファイル (全検体の代表配列とリード数含む)	qza, qzv ファイル

- ・アンプリコンシーケンス解析の生データでご依頼の場合は、QIIME2 の一次解析が必要です。

作業の流れ

代表配列をリファレンス
配列へアライメント

系統樹の作成

代表配列リード数の
ノーマライズ

COG、ECを使用した
遺伝子の機能予測

遺伝子の機能組成表
の集計

仕 様

解析ソフトウェア	解析データベース	内容
PICRUSt2	Clusters of Orthologous Genes (COG) および Enzyme Commission numbers (EC)	QIIME2 で出力した代表配列とリード数を基に、 細菌叢が持つ遺伝子の機能を予測します。

納品内容

報告内容		形式
系統樹	リファレンス配列と検体の代表配列を含めて描画した 系統樹	tre ファイル
補正された代表配列の存在量	リファレンス配列のゲノム情報に含まれる 16S rDNA コ ピー数を基に補正された、代表配列の存在量	tsv ファイル
Nearest-sequenced taxon index	遺伝子機能の予測精度の評価結果	
予測された遺伝子の存在量	2 種類のデータベース (COG、EC) を用いた遺伝子機 能予測の結果と、各遺伝子の推定存在量	

報告サンプル

予測された遺伝子の機能と推定存在量					
function	description	Sample01	Sample02	Sample03	Sample04
EC:1.1.1.1	Alcohol dehydrogenase	26347	37805	2896	47988
EC:1.1.1.100	3-oxoacyl-[acyl-carrier-protein] reductase	46357	37727	5321	76554
EC:1.1.1.103	L-threonine 3-dehydrogenase	1461.5	69144	2046.1	4881.9
EC:1.1.1.108	Carnitine 3-dehydrogenase	35	344	18	0
EC:1.1.1.11	D-arabinitol 4-dehydrogenase	2.2	109	0	111
EC:1.1.1.125	2-deoxy-D-gluconate 3-dehydrogenase	1737.1	585.62	174.63	811.14
EC:1.1.1.130	3-dehydro-L-gulonate 2-dehydrogenase	30.8	31.17	72.03	142
EC:1.1.1.132	GDP-mannose 6-dehydrogenase	44.4	0	7.8	1464.6

価格・納期

試験項目	検体数	単位	単価（税抜）	納期
PICRUS _t 2 による予測メタゲノム解析※ ¹	1 ～	式	28,000 円	8 営業日

※¹ QIIME2の出力データ（一次解析結果）が必須となります。当社仕様で実施していないQIIME2の出力データの場合はお問い合わせ下さい。

ご依頼前の同意事項

- メディア（DVD-R）による配送納品のみとなります。
- ご依頼前の同意事項（共通）を必ずご確認ください。
- ご依頼前の解析手法などの選択についてのご相談には可能な範囲で対応しますが、最終的なご判断はお客様の責任にてお願いします。

データ解析

Memo

データ解析

その他の微生物試験・製品

その他の微生物試験・製品

44

【ガイド】 NCIMB株、TL株分譲の基本的な流れ

45

NCIMB株分譲

46

TL株分譲

47

アンプルカッター

47

リアルタイムPCR用定量キット (環境・食品関連)

49

リアルタイムPCR用 プライマーリスト

50

【ガイド】NCIMB株、TL株分譲の基本的な流れ

1 依頼書の入手

当社ホームページより依頼書をダウンロードして下さい。

2 依頼書のご記入と送信

必要事項をご記入し、希望項目をご選択いただき、依頼書をEメールにてお送り下さい。

MTA (Material Transfer Agreement) をご理解いただき、署名など必要事項をご記入の上PDFファイルをEメールでお送り下さい。

3 輸入禁止品などの該当確認 (NCIMB株のみ)

菌種名および菌株番号を当社より動物検疫所および植物防疫所に連絡し、「輸入禁止品の該当の有無」を確認します。

お客様の「法人名または機関名」「所属」「ご担当者名」「住所」などのご連絡先を当社より開示することがあります。また菌種名が不特定の微生物株(カタログ上で菌種名を「XXXX sp.」と記載)などの一部のNCIMB株は、輸入禁止品の該当確認のために参考資料提出などのご協力をお願いすることがあります。

その他、お客様ご自身でヨーロッパ特許庁へ特許株分譲許可申請などが必要なNCIMB株もあります。

動物検疫所または植物防疫所の輸入禁止品に該当した場合

お客様により輸入許可申請をしていただき、審査後に送られてくる輸入許可証明書を当社まで郵送していただきます。その後、当社より英国NCIMBへ発注手続きを行います。

4 見積・注文書のご案内

見積書・注文書をご案内します。注文書にご署名の上、Eメールまたは FAXにてご返信下さい。

5 微生物株の送付

微生物株の準備ができ次第、納品します。

微生物株の取扱いに関する書類、培養条件および納品書、請求書などを併せてお送りします。

プラスミド、バクテリオファージの場合、移動、利用などに関する制限がありますのでご注意ください。

輸入禁止該当品および特許株は、NCIMBより使用・入手許可申請された研究室へ直送されます。

6 受領確認

微生物株の受領確認書をご返信いただき、分譲完了となります。

- ・ 特許株に該当する場合、手続き方法が異なります。別途、案内しますので、ご相談下さい。
- ・ プラスミド、バクテリオファージなどの「遺伝子組換え生物」の分譲では、「遺伝子組換え生物などの使用などの規制による生物の多様性の確保に関する法律(カルタヘナ法)」により、移動、利用などに関する制限があります。ご利用(研究開発利用を含む)される際は、各担当省に対して、お客様にて確認申請をする義務が生じますのでご注意ください。
- ・ 詳しくは、環境省バイオセーフティクリアリングハウス <http://www.biodic.go.jp/bch/> および遺伝子組換え生物など(LMO)に関する各種情報にてご確認ください。

NCIMB株分譲

特 長

- ・英国NCIMB研究所が保存する微生物株の**輸入代行販売**
- ・輸入に係る**手続きは当社で実施**

試験の概要

英国にある微生物株保存機関 NCIMB研究所 (The National Collections of Industrial, Food and Marine Bacteria Ltd.) が保存するNCIMB株を分譲します (NCIB, NCMB, NCFBはNCIMBとして統合されました)。

NCIMB研究所は、物質生産などの工業的に利用される有用微生物、海洋細菌や食品製造などに用いる微生物株を主体とした細菌の保存を行なっています。特徴的な性質を持つ約10,000株の細菌、プラスミド、およびバクテリオファージを分譲しています。

NCIMB株は、ガラスアンプル内に真空熔封した凍結乾燥品の状態で分譲します。このアンプル内には、微生物株の識別番号ラベルが封入されています。一部凍結乾燥不可、または凍結乾燥により著しく生育阻害の認められる微生物株は、生菌培養品での分譲となります。

また、バクテリオファージは、プラスチックバイアル内に収めた懸濁液での分譲となります。NCIMB株は、英国NCIMBホームページ <https://www.ncimb.com>で検索可能です。



価格・納期

試験項目		単位	価格（税抜）	目安納期
NCIMB 株	区分 A（通常株／アンプル）	本	30,000 円	3 週間～
	区分 B（NCIMB で定める難培養株／アンプル）		63,000 円	
分譲手数料 （航空便・宅配便・外貨 送金手数料など）	通常便（バイオセーフティレベル 1）	依頼	19,000 円	
	特別便（バイオセーフティレベル 2）		46,000 円	
大臣許可を必要とする輸入禁止該当株		お問い合わせ下さい		

- ・当社は、国際郵便約款第104条に基づき、「伝染性物質を包有する郵便物の発受を行う機関」として承認を受けています。
- ・NCIMB株の区分は、NCIMBホームページのカatalogサーチなどをご利用の上、ご確認下さい。
- ・ヨーロッパ特許庁へ特許株分譲許可申請などが必要なNCIMB株もあります。

ご依頼前の同意事項

- ・菌種名および菌株番号を当社より動物検疫所および植物防疫所に連絡し、「輸入禁止品の該当の有無」を確認します。
- ・種名が不特定の微生物株 (カタログ上で種名を「XXXX sp.」と記載) などの一部のNCIMB株につきまして、輸入禁止品の該当確認のために参考資料提出などのご協力をお願いすることがあります。
- ・動物検疫所または植物防疫所の輸入禁止品に該当した場合お客様により輸入許可申請をしていただき、審査後に送られてくる輸入許可証明書を当社まで郵送していただきます。その後、当社より英国NCIMBへ発注手続きを行います。
- ・プラスミド、バクテリオファージの場合、移動、利用などに関する制限がありますのでご注意ください。
- ・適切な設備 (安全キャビネット、オートクレーブなど) および微生物の取扱いに熟練したお客様の管理のもとでご利用下さい。
- ・関連する日本の法令、規則、およびガイドライン (植物防疫法、遺伝子組換え生物などの使用などの規制による生物の多様性の確保に関する法律など) によって認められる実験条件や方法の範囲内での、分譲および使用に限りです。
- ・第三者へ転売・譲渡、あるいは、ご依頼の際にご連絡していただいた目的以外のご利用はできません。
- ・万が一、分譲したNCIMB株などに不具合があった場合、NCIMB株の到着日から30日以内に当社営業部までご連絡下さい。
- ・NCIMB株に関して、「寄託者・第三者などが保有する知的財産権、その他一切の権利が譲渡されるものではないこと」「商用ライセンス、商業利用の権利を与えるものではないこと」をご理解の上、ご利用・ご使用下さい。
- ・提供されたNCIMB株によって発生した損失に関わる責任・損害について、当社は一切の責任を負いません。
- ・その他の注意点は、「NCIMB MATERIAL TRANSFER AGREEMENT」に従って下さい。
[<https://www.ncimb.com/culture-collection/material-transfer-agreement/>]

TL株分譲

特 長

- ・当社が分離した腸内細菌や乳酸菌、酵母などの微生物株（以下、TL株）の分譲
- ・独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）のバイオテクノロジーセンター（NBRC）が運営する、生物資源データプラットフォームDBRP（Data and Biological Resource Platform）と連携
- ・TL株は研究や商用での利用が可能（商用利用はご相談下さい）

試験の概要

当社で分離した微生物株を分譲します。嫌気性の腸内細菌（*Anaerostipes*属をはじめとし、*Akkermansia*属、*Bacteroides*属、*Bifidobacterium*属、*Blautia*属、*Butyrivibrio*属、*Lactobacillus*属および*Veillonella*属など）、動植物から分離した有益な根粒菌、乳酸菌、酵母などを随時追加していきます。

また、当社で試験が終了し、お客様よりオープンカルチャーとして当社に権利譲渡していただいた微生物株で、衛生管理や産業利用面でご要望される微生物株についても分譲します。TL株は、基本的にL-乾燥アンプルまたは凍結標品での分譲ですが、ご希望に応じて、培養株の分譲もしますのでお問い合わせ下さい。

TL株は、DBRPホームページ <https://www.nite.go.jp/nbrc/dbrp/top/> で検索可能です。

価格・納期

製品名		単位	単価（税抜）	目安納期
TL 株	年間利用費 ^{※1}	株	8,000 円 / 年	1 週間～
	菌株権利買取 ^{※2}		お問い合わせ下さい	
オプション	平板培養物	株	お問い合わせ下さい	1 週間～

※1 最大5年までの年間契約となります。1年間単位として、途中解約の場合の返金はしません。継続して、1年間利用される場合には、再度同様のご依頼手続きをお願いします。

※2 菌株権利買取について、権利買取前の分譲先による産業利用や特許利用に関する侵害などについて、当社は一切の責任を負いません。

- ・論文投稿、学会発表の際にはTL株の表記および当社への報告を必須とし、特許取得の際にも当社への報告を必須とします。
- ・ご契約の利用期間後は、当社へ廃棄証明書をお送りの上、菌株の廃棄をお願いします。

アンプルカッター

試験の概要

アンプルの開封を安全に行うことが可能なアンプルカッターです。

価格・納期

製品名	単位	単価（税抜）	目安納期
アンプルカッター（岩田硝子工業株式会社製）	個	29,000 円	10 営業日



アンプルカッター
（岩田硝子工業株式会社製）

鉄細菌 顕微鏡観察

特 長

- ・典型的な鉄細菌として知られる *Gallionella* 属 および *Leptothrix* 属などを検体から直接顕微鏡観察
- ・特徴的な細胞形態を捉えた顕微鏡写真付きで報告

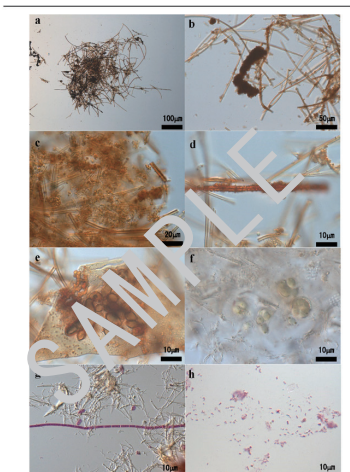
試験の概要

水中の溶存鉄や溶存マンガンを酸化し、菌体の内外に沈積する能力をもった一群の細菌は「鉄バクテリア」または「鉄細菌」と呼ばれています。これら鉄細菌などを含めた糸状微生物（主に糸状細菌）は、溶存鉄を含む地下水が湧き出ている場所から検出されます。また、微生物腐食、活性汚泥のバルキング（膨化）や生物膜による閉塞の原因生物となり、排水などの生物的处理施設を維持管理するうえで問題となることが知られています。

本試験では、水試料（肉眼で茶褐色の沈殿物が認められるような検体を含む）などを中心に、鉄細菌を光学顕微鏡による観察で識別します。下水試験方法（2012年版）やASTM D932-20（2020）※などを参考に、グラム染色および無染色による観察（微分干渉観察など）を行います。

※ ASTM D932-20（2020）は失効しています。最新版を参考とするものではありません。

報告書サンプル

鉄細菌顕微鏡観察													
顕微鏡観察像	結果												
 図1: S11000000の光学顕微鏡観察像 (a-h: グラム染色)	結果 S11000000の棕色沈殿物の中には鉄細菌の仲間と考えられる青銅細菌 (<i>Leptothrix</i> 属あるいは <i>Sphaerotilus</i> 属細菌など) と考えられる菌類も含まれていると考えられます (図1a-d)。その中には細菌細胞が付いた糸状の構造 (図1e, f) や、これらの細胞構造の表面が茶褐色の沈殿物で覆われたものが認められました (図1g, h)。これらは、特に <i>Leptothrix</i> 属などの鉄酸化細菌に由来する構造物だと考えられます。また、そのほかにも菌類が数個に並列している糸状細菌 (図1g)、細菌 (図1h)、カビの胞子 (図1e)、微細藻類 (図1f) などが多数観察されました。観察結果を表1にまとめます。 <table><tr><th colspan="2">表1: 観察された主な生物カテゴリー</th></tr><tr><th>STD</th><th>検体名</th></tr><tr><td>00000</td><td>SAMPLE</td></tr><tr><td></td><td>鉄細菌等の糸状細菌の構造 (図1e, f)</td></tr><tr><td></td><td>糸状細菌 (図1g, h)</td></tr><tr><td></td><td>カビ、微細藻類</td></tr></table>	表1: 観察された主な生物カテゴリー		STD	検体名	00000	SAMPLE		鉄細菌等の糸状細菌の構造 (図1e, f)		糸状細菌 (図1g, h)		カビ、微細藻類
表1: 観察された主な生物カテゴリー													
STD	検体名												
00000	SAMPLE												
	鉄細菌等の糸状細菌の構造 (図1e, f)												
	糸状細菌 (図1g, h)												
	カビ、微細藻類												

価格・納期

試験項目	単位	単価（税抜）	目安納期
鉄細菌顕微鏡観察	検体	20,000 円	10 営業日

- ・典型的な鉄細菌として知られるグループ (*Gallionella* 属, *Leptothrix* 属など) においても、検体の状態によっては観察が困難な場合があります。
- ・鉄細菌のリアルタイムPCR解析は、「環境関連 微生物群集構造解析/菌叢解析 関連キット販売カタログ」をご参照下さい。

ご依頼前の同意事項

- ・ご依頼前の同意事項(共通)を必ずご確認ください。

リアルタイムPCR用定量キット（環境・食品関連）

特 長

- ・プライマーミックスおよび、ポジティブコントロールをセットにした定量キット
- ・**鋳型DNAと必要機器**があれば解析可能

概 要

環境検体および食品関連向けのリアルタイムPCR解析用のキットです。リアルタイムPCR解析は、検体に含まれる特定分類群のDNAをPCRで増幅し、指数関数的に増幅するDNA量をリアルタイムでモニタリングする解析手法です。モニタリングの結果から、対象の微生物の鋳型DNA量を推定することができます。

製品内容

製品内容	保存方法
・ Primer Mix 200 μL $\times$ 1 本 ・ Positive Control 50 μL $\times$ 1 本（プラスミド DNA） （25 μL 反応系で、200 回 PCR 可能です） DNA 精製試薬、プライマーを除く PCR 反応試薬は含みません。 キット以外に必要な試薬や機器などは、お客様でご用意下さい。	-20℃ ※ 3ヶ月以内は 2 ～ 8℃で保存可能

区分	Cat. No.	対象分類群
環境	RE-0001	<i>Aeromonas</i> 属
	RE-0002	<i>Leptothrix</i> / <i>Sphaerotilus</i> 属
	RE-0003	<i>Gallionella</i> / <i>Sideroxydans</i> 属
	RE-0004	<i>Thiothrix</i> 属
	RE-0005	<i>Legionella</i> 属
	RE-0006	<i>Prolixibacter</i> 属
	RM-0001	<i>Methanobacteriaceae</i> 科
	RM-0002	<i>Methanospirillum</i> 属
	RM-0003	<i>Methanomethylovorans</i> 属
食品	RF-0001	Acetic acid bacteria
	RF-0002	<i>Alicyclobacillus</i> 属
	RF-0003	<i>Enterococcus faecalis</i>
	RF-0004	<i>Streptococcus thermophilus</i>
	RF-0005	<i>Lactobacillus delbrueckii</i> subsp. <i>bulgaricus</i>
	RF-0006	<i>Levilactobacillus brevis</i> (<i>Lactobacillus brevis</i>)
	RF-0007	<i>Lactobacillus helveticus</i>
	RF-0008	<i>Lactiplantibacillus paraplantarum</i> (<i>Lactobacillus paraplantarum</i>)
	RF-0009	<i>Bacillus subtilis</i>
	RF-0010	<i>Lactococcus lactis</i>
	RF-0011	<i>Lactococcus cremoris</i>
	RF-0012	<i>Leuconostoc mesenteroides</i>

価格・納期

製品名	単位	単価（税抜）	納期
リアルタイム PCR 用定量キット	セット	60,000 円	15 営業日 ※受注生産

ご依頼前の同意事項

- ・本キットに含まれるプライマーの塩基配列は、開示しません。また仕様は、予告なく変更することがあります。
- ・本製品は、研究用試薬ですので、ヒトへの医療、臨床診断には使用できません。また、本製品を用いた検査結果判定により発生する問題に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品の再販、および本製品を改変し再販することに起因する損失・損害などについて、当社は一切の責任を負いません。
- ・ご依頼前の同意事項（共通）を必ずご確認ください。
- ・製品到着次第、製品の破損、不足、不良などをご確認下さい。破損などの不良を確認した場合は、使用せず当社までご連絡下さい。製品納品後、2週間以内のお申し出に限り交換にて対応します。
- ・製品の仕様（色、形状など）は予告なく変更する場合があります。

リアルタイムPCR用 プライマーリスト

掲載以外の特定分類群や特定機能遺伝子（ターゲット）はお問い合わせ下さい。

表中の遺伝子の表記は、ターゲットに対する遺伝子領域を意味します。“-”はキット化しているため公表していません。

表中の備考にKit（Cat.○○○）と記載されている分類群は、当社で販売しているリアルタイムPCR用定量キットを使用し解析を行います。

リアルタイムPCR用定量キットに使用するプライマー配列は開示していません。

全菌数および腸内細菌1

区分	対象菌種（分類群）	遺伝子	備考
全菌数	全真正細菌	16S	検体中に含まれる全真正細菌
	全アーキア	16S	検体中に含まれる全アーキア
	カビ・酵母 ITS	ITS 領域	検体中に含まれるカビ・酵母

区分	対象菌種（分類群）	遺伝子	備考
腸内細菌	<i>Akkermansia muciniphila</i>	16S	腸管内のムチン分解菌である <i>A. muciniphila</i>
	<i>Anaerostipes</i> 属	-	ヒト腸管内の優勢菌種である <i>Anaerostipes</i> 属 <i>Anaerostipes</i> Detection Kit (Cat. No. RI-0017) 使用
	<i>Bacillota</i> 門 (<i>Firmicutes</i> 門)	16S	ヒト・動物腸管内の優勢菌である <i>Bacillota</i> 門 (<i>Firmicutes</i> 門)
	<i>Bacteroidota</i> 門 (<i>Bacteroidetes</i> 門)	16S	ヒト・動物腸管内の優勢菌である <i>Bacteroidota</i> 門 (<i>Bacteroidetes</i> 門)
	<i>Bacteroidales</i> 目	16S	ヒト・動物腸管内の優勢菌である <i>Bacteroidales</i> 目 (<i>Bacteroides</i> / <i>Phocaericola</i> / <i>Prevotella</i> / <i>Porphyromonas</i> 属など)
	<i>Bacteroides</i> 属	-	ヒト・動物腸管内の優勢菌である旧 <i>Bacteroides</i> 属 (<i>Bacteroides</i> 属および <i>Phocaericola</i> 属) <i>Bacteroides</i> Detection Kit (Cat. No. RI-0011) 使用
	<i>Bacteroides fragilis</i>	-	ヒト・動物腸管内および口腔内 <i>B. fragilis</i> <i>Bacteroides fragilis</i> Detection Kit (Cat. No. RO-0003) 使用
	<i>Bifidobacterium</i> 属	16S	ヒト腸管内の優勢乳酸菌である <i>Bifidobacterium</i> 属
	<i>Bifidobacterium bifidum</i>	16S	ヒト小児腸管内の優勢菌である <i>B. bifidum</i>
	<i>Bifidobacterium breve</i>	16S	ヒト小児腸管内の優勢菌である <i>B. breve</i>
	<i>Bifidobacterium longum</i>	16S	食品中あるいは腸管内の <i>B. longum</i>
	<i>Bifidobacterium longum</i> subsp. <i>longum</i>	<i>tuf</i>	食品中あるいは腸管内の <i>B. longum</i> subsp. <i>longum</i>
	<i>Bifidobacterium pseudocatenulatum</i>	<i>groEL</i>	腸管内の <i>B. pseudocatenulatum</i>
	<i>Bilophila wadsworthia</i>	-	胆汁により発育が促進され、 β -ラクタム薬に高度耐性をもつ <i>B. wadsworthia</i> <i>Bilophila wadsworthia</i> Detection Kit (Cat. No. RI-0009) 使用
	<i>Blautia</i> 属	-	ヒト腸管内の最優勢菌種である <i>Blautia</i> 属 <i>Blautia</i> Detection Kit (Cat. No. RI-0008) 使用
	<i>Campylobacter</i> 属	-	臨床細菌学的に重要な、ヒト・動物腸管内および口腔内 <i>Campylobacter</i> 属 <i>Campylobacter</i> Detection Kit (Cat. No. RO-0006) 使用
	Candidate Division TM7	16S	炎症性腸疾患との関わりが注目されている Candidate Division TM7
	<i>Cetobacterium</i> 属	-	ヒト腸管内 <i>Fusobacteria</i> 門細菌である <i>Cetobacterium</i> 属 <i>Cetobacterium</i> Detection Kit (Cat. No. RI-0016) 使用
	<i>Christensenella minuta</i>	-	痩せ型のヒトに多いとされる <i>C. minuta</i> <i>Christensenella minuta</i> Detection Kit (Cat. No. RI-0015) 使用
	<i>Clostridium</i> cluster I & II	16S	ヒト・動物腸管内の優勢菌種であり狭義の <i>Clostridium</i> 属菌である <i>Clostridium</i> cluster I および II
	<i>Clostridium</i> cluster IV	-	ヒト・動物腸管内の優勢菌種である <i>Clostridium</i> cluster IV <i>Clostridium</i> cluster IV Detection Kit (Cat. No. RI-0001) 使用
	<i>Clostridium</i> cluster XI	16S	ヒト・動物腸管内の優勢菌種である <i>Clostridium</i> cluster XI
	<i>Clostridium</i> cluster XIV	16S	ヒト・動物腸管内の優勢菌種である <i>Clostridium</i> cluster XIV
	<i>Clostridium</i> cluster XV	-	ヒト・動物腸管内の <i>Clostridium</i> cluster XV <i>Clostridium</i> cluster XV Detection Kit (Cat. No. RI-0002) 使用
	<i>Clostridium</i> cluster XVI ~ XVIII	-	ヒト・動物腸管内の <i>Clostridium</i> cluster XVI、XVII および XVIII <i>Clostridium</i> cluster XVI・XVII・XVIII Detection Kit (Cat. No. RI-0006) 使用
	<i>Clostridium</i> cluster XVIII	-	ヒト・動物腸管内の <i>Clostridium</i> cluster XVIII <i>Clostridium</i> cluster XVIII Detection Kit (Cat. No. RI-0003) 使用

腸内細菌2

区分	対象菌種（分類群）	遺伝子	備考
腸内細菌（続き）	<i>Clostridium perfringens</i> （ウェルシュ菌）	16S	日和見感染菌である <i>C. perfringens</i> （ウェルシュ菌）
	<i>Clostridium butyricum</i>	-	酪酸を生成する偏性嫌気性芽胞形成グラム陽性桿菌 <i>Clostridium butyricum</i> Detection Kit (Cat. No. RI-0004) 使用
	<i>Clostridium leptum</i>	-	ヒト・動物腸管内の <i>C. leptum</i> <i>Clostridium leptum</i> Detection Kit (Cat. No. RI-0007) 使用
	<i>Peptacetobacter hiranonis</i> および <i>Clostridium scindens</i>	<i>baiCD</i>	7 α -dehydroxylase 活性を有する <i>P. hiranonis</i> および <i>C. scindens</i>
	<i>Clostridium hylemonae</i> および <i>C. scindens</i>	<i>baiJ</i>	7 α -dehydroxylase 活性を有する <i>C. hylemonae</i> および <i>C. scindens</i>
	<i>Clostridioides difficile</i>	16S	偽膜性腸炎、抗菌薬関連下痢症に関与する <i>C. difficile</i>
	<i>Coriobacteriaceae</i> 科	16S	ヒト腸内細菌の優勢菌である <i>Coriobacteriaceae</i> 科 (<i>Atopobium</i> / <i>Collinsella</i> / <i>Eggerthella</i> 属)
	<i>Eggerthella</i> 属	-	ヒト腸管内の <i>Eggerthella</i> 属 <i>Eggerthella</i> Detection Kit (Cat. No. RI-0021) 使用
	<i>Enterobacteriaceae</i> 科	16S	ヒト・動物腸管内常在菌である腸内細菌科 (<i>E. coli</i> , <i>Shigella</i> etc.)
	<i>Enterococcus</i> 属	16S	ヒト・動物腸管内および環境中の <i>Enterococcus</i> 属
	<i>Enterococcus faecalis</i>	-	食品中あるいは環境中の <i>E. faecalis</i> <i>Enterococcus faecalis</i> Detection Kit (Cat. No. RF-0003) 使用
	<i>Enterococcus faecium</i>	<i>recA</i>	ヒト・動物腸管内および環境中の <i>E. faecium</i>
	<i>Escherichia coli</i> / <i>Shigella</i> 属	16S	ヒト・動物腸管内および環境中の大腸菌 (<i>E. coli</i> および <i>Shigella</i> 属)
	<i>Faecalibacterium prausnitzii</i>	16S	ヒト腸管内の優勢菌種である <i>F. prausnitzii</i> およびその近縁菌種
	<i>Fusicatenibacter saccharivorans</i>	-	ヒト腸管内の優勢菌種である <i>F. saccharivorans</i> <i>Fusicatenibacter saccharivorans</i> Detection Kit (Cat. No. RI-0020) 使用
	<i>Fusobacteriota</i> 門 (<i>Fusobacteria</i> 門)	16S	臨床細菌学的に重要なヒト・動物腸管内および口腔内 <i>Fusobacteriota</i> 門 (<i>Fusobacteria</i> 門)
	<i>Fusobacterium</i> 属	-	臨床細菌学的に重要な、ヒト・動物腸管内および口腔内 <i>Fusobacterium</i> 属 <i>Fusobacterium</i> Detection Kit (Cat. No. RO-0005) 使用
	<i>Fusobacterium varium</i>	-	ヒト・動物腸管内の <i>F. varium</i> <i>Fusobacterium varium</i> Detection Kit (Cat. No. RI-0005) 使用
	<i>Fusobacterium nucleatum</i>	16S	臨床細菌学的に重要な <i>F. nucleatum</i>
	<i>Helicobacter</i> 属	16S	ヒト胃腸管内の常在菌である <i>Helicobacter</i> 属
	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	-	ヒト・動物腸管内および口腔内 <i>K. pneumoniae</i> <i>Klebsiella pneumoniae</i> Detection Kit (Cat. No. RI-0014) 使用
	<i>Lactocaseibacillus casei</i> (<i>Lactobacillus casei</i>)	16S	ヒト・動物腸管内の <i>L. casei</i>
	<i>Lactocaseibacillus casei</i> (<i>Lactobacillus casei</i>) group	16S	ヒト・動物腸管内の <i>L. casei</i> , <i>L. paracasei</i> , <i>L. rhamnosus</i> および <i>L. zeae</i>
	<i>Lactobacillus</i> 属	16S	ヒト・動物腸管内の旧名 <i>Lactobacillus</i> / <i>Pediococcus</i> / <i>Weissella</i> 属
	<i>Lactobacillus gasseri</i>	-	ヒト・動物腸管内の <i>L. gasseri</i> <i>Lactobacillus gasseri</i> Detection Kit (Cat. No. RI-0010) 使用
	<i>Limosilactobacillus fermentum</i> (<i>Lactobacillus fermentum</i>)	16S	ヒト・動物腸管内の <i>L. fermentum</i>
	<i>Limosilactobacillus mucosae</i> (<i>Lactobacillus mucosae</i>)	-	ヒト・動物腸管内の <i>L. mucosae</i> <i>Limosilactobacillus mucosae</i> Detection Kit (Cat. No. RI-0019) 使用
	<i>Lancefieldella parvula</i> (<i>Atopobium parvulum</i>)	16S	大腸がんとの関連が疑われている <i>L. parvula</i> (<i>A. parvulum</i>)
	<i>Peptostreptococcus stomatis</i>	-	大腸がん病巣から高頻度に検出される <i>P. stomatis</i> <i>Peptostreptococcus stomatis</i> Detection Kit (Cat. No. RI-0018) 使用
	<i>Parabacteroides</i> 属	-	ヒト・動物腸管内の優勢菌である <i>Parabacteroides</i> 属 <i>Parabacteroides</i> Detection Kit (Cat. No. RI-0013) 使用
	<i>Prevotella</i> 属	-	ヒト・動物腸管内および口腔内 <i>Prevotella</i> 属 <i>Prevotella</i> Detection Kit (Cat. No. RO-0004) 使用

腸内細菌3および腸内アーキア

区分	対象菌種（分類群）	遺伝子	備考
腸内細菌（続き）	<i>Proteus</i> 属	16S	ヒト・動物腸管内および環境中の <i>Proteus</i> 属
	<i>Proteus mirabilis</i>	<i>ureA</i>	尿路感染症に関連する <i>P. mirabilis</i>
	<i>Pseudomonas</i> 属	16S	ヒト・動物腸管内および環境中の <i>Pseudomonas</i> 属
	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	<i>gyrB</i>	ヒト・動物腸管内および環境中に存在し、緑膿菌感染症の原因となる <i>P. aeruginosa</i>
	<i>Roseburia</i> / <i>Agathobacter rectalis</i> group	16S	ヒト・動物腸管内の <i>Roseburia</i> / <i>Agathobacter rectalis</i> group
	<i>Roseburia</i> 属	16S	ヒト腸管内の酪酸産生菌である <i>Roseburia</i> 属 (<i>R. inulinivorans</i> 除く)
	<i>Salmonella</i> 属	<i>invA</i>	ヒトや動物の消化管に生息し、一部がヒトや動物に感染して病原性を示す <i>Salmonella</i> 属
	<i>Staphylococcus</i> 属	16S	ヒト・動物腸管内および環境中の <i>Staphylococcus</i> 属
	<i>Staphylococcus aureus</i>	-	臨床細菌学的に重要な、ヒト・動物腸管内および口腔内 <i>S. aureus</i> Staphylococcus aureus Detection Kit (Cat. No. RO-0009) 使用
	<i>Streptococcus</i> 属	-	ヒト・動物腸管内・口腔内の <i>Streptococcus</i> 属 Streptococcus Detection Kit (Cat. No. RO-0001) 使用
	<i>Streptococcus bovis</i>	16S	ルーメン細菌である <i>S. bovis</i> (<i>S. equinus</i>)
	<i>Sutterella</i> 属	-	胆汁耐性菌で Autism-associated bacteria として議論されている <i>Sutterella</i> 属 Sutterella Detection Kit (Cat. No. RI-0012) 使用
	<i>Thomasclavelia ramosa</i> (<i>Clostridium ramosum</i>)	-	ヒト・動物腸管内の <i>T. ramosa</i> Thomasclavelia ramosa Detection Kit (Cat. No. RI-0022) 使用
	<i>Veillonella</i> 属	-	ヒト・動物腸管内および口腔内常在菌である <i>Veillonella</i> 属 Veillonella Detection Kit (Cat. No. RO-0007) 使用
	Verrucomicrobiota 門 (Verrucomicrobia 門)		ヒト・動物腸管内の Verrucomicrobiota 門 (Verrucomicrobia 門)

区分	対象菌種（分類群）	遺伝子	備考
アーキア	<i>Methanobacteriaceae</i> 科	-	ヒト腸内アーキアである <i>Methanobacteriaceae</i> 科 (<i>Methanobrevibacter</i> および <i>Methanosphaera</i>)
			Methanobacteriaceae Detection Kit (Cat. No. RM-0001) 使用

皮膚常在菌、口腔内細菌および膣内

区分	対象菌種（分類群）	遺伝子	備考
皮膚常在	<i>Acinetobacter</i> 属	16S	ヒト腸内・皮膚の常在菌である <i>Acinetobacter</i> 属
	<i>Cutibacterium acnes</i>	<i>grpE</i>	皮膚の常在菌である <i>C. acnes</i>
	<i>Staphylococcus aureus</i>	-	臨床細菌学的に重要な、ヒト・動物腸管内および口腔内 <i>S. aureus</i> <i>Staphylococcus aureus</i> Detection Kit (Cat. No. RO-0009) 使用
	<i>Staphylococcus epidermidis</i>	<i>gmk</i>	表皮ブドウ球菌である <i>S. epidermidis</i>
	<i>Staphylococcus warneri</i>	<i>sodA</i>	皮膚の常在菌である <i>S. warneri</i>

区分	対象菌種（分類群）	遺伝子	備考
口腔内細菌	<i>Actinomyces</i> 属	-	ヒト・動物腸管内および口腔内常在菌である <i>Actinomyces</i> 属 <i>Actinomyces</i> Detection Kit (Cat. No. RO-0008) 使用
	<i>Aggregatibacter actinomycetemcomitans</i>	-	歯周病の原因菌として注目されている <i>A. actinomycetemcomitans</i> <i>Aggregatibacter actinomycetemcomitans</i> Detection Kit (Cat. No. RO-0011) 使用
	<i>Bacteroides fragilis</i>	-	ヒト・動物腸管内および口腔内 <i>B. fragilis</i> <i>Bacteroides fragilis</i> Detection Kit (Cat. No. RO-0003) 使用
	<i>Campylobacter</i> 属	-	臨床細菌学的に重要な、ヒト・動物腸管内および口腔内 <i>Campylobacter</i> 属 <i>Campylobacter</i> Detection Kit (Cat. No. RO-0006) 使用
	Candidate Division TM7	16S	歯周炎との関わりが注目されている Candidate Division TM7
	<i>Fusobacterium</i> 属	-	臨床細菌学的に重要な、ヒト・動物腸管内および口腔内 <i>Fusobacterium</i> 属 <i>Fusobacterium</i> Detection Kit (Cat. No. RO-0005) 使用
	<i>Fusobacterium nucleatum</i>	16S	歯周病の原因菌として注目されている <i>F. nucleatum</i>
	<i>Leptotrichia</i> 属	-	口腔内常在菌である <i>Leptotrichia</i> 属 <i>Leptotrichia</i> Detection Kit (Cat. No. RO-0012) 使用
	<i>Prevotella</i> 属	-	ヒト・動物腸管内および口腔内 <i>Prevotella</i> 属 <i>Prevotella</i> Detection Kit (Cat. No. RO-0004) 使用
	<i>Prevotella intermedia</i>	16S	ヒト口腔内常在菌である <i>P. intermedia</i>
	<i>Porphyromonas gingivalis</i>	-	ヒトの歯肉溝に生息し、歯周病の原因菌として注目されている <i>P. gingivalis</i> <i>Porphyromonas gingivalis</i> Detection Kit (Cat. No. RO-0010) 使用
	<i>Streptococcus</i> 属	-	ヒト・動物腸管内・口腔内の <i>Streptococcus</i> 属 <i>Streptococcus</i> Detection Kit (Cat. No. RO-0001) 使用
	<i>Streptococcus mutans</i>	-	う蝕に関与する <i>S. mutans</i> <i>Streptococcus mutans</i> Detection Kit (Cat. No. RO-0002) 使用
	<i>Streptococcus intermedius</i>	-	ヒト口腔内常在菌である <i>S. intermedius</i> <i>Streptococcus intermedius</i> Detection Kit (Cat. No. RO-0015) 使用
	<i>Streptococcus oralis</i>	<i>gtfR</i>	ヒト口腔内常在菌である <i>S. oralis</i>
	<i>Staphylococcus aureus</i>	-	臨床細菌学的に重要な、ヒト・動物腸管内および口腔内 <i>S. aureus</i> <i>Staphylococcus aureus</i> Detection Kit (Cat. No. RO-0009) 使用
	<i>Treponema denticola</i>	-	歯周病の原因菌として注目されている <i>T. denticola</i> <i>Treponema denticola</i> Detection Kit (Cat. No. RO-0013) 使用
	<i>Tannerella forsythia</i>	-	歯周病の原因菌として注目されている <i>T. forsythia</i> <i>Tannerella forsythia</i> Detection Kit (Cat. No. RO-0014) 使用
	<i>Veillonella</i> 属	-	ヒト・動物腸管内および口腔内常在菌である <i>Veillonella</i> 属 <i>Veillonella</i> Detection Kit (Cat. No. RO-0007) 使用

区分	対象菌種（分類群）	遺伝子	備考
膣内	<i>Gardnerella vaginalis</i>	-	細菌性膣症の原因菌として知られている <i>G. vaginalis</i> <i>Gardnerella vaginalis</i> Detection Kit (Cat. No. RV-0001) 使用

食品

区分	対象菌種（分類群）	遺伝子	備考
食品	<i>Alicyclobacillus</i> 属	-	耐熱性好酸性菌である <i>Alicyclobacillus</i> 属 <i>Alicyclobacillus</i> Detection Kit (Cat. No. RF-0002) 使用
	<i>Bacillus subtilis</i>	-	食品中あるいは環境中の <i>B. subtilis</i> <i>Bacillus subtilis</i> Detection Kit (Cat. No. RF-0009) 使用
	<i>Bifidobacterium animalis</i> subsp. <i>lactis</i>	16S-23S	食品中あるいは環境中の <i>B. animalis</i> subsp. <i>lactis</i>
	<i>Bifidobacterium longum</i>	16S	食品中あるいは環境中の <i>B. longum</i>
	<i>Enterococcus faecalis</i>	-	食品中あるいは環境中の <i>E. faecalis</i> <i>Enterococcus faecalis</i> Detection Kit (Cat. No. RF-0003) 使用
	<i>Lactocaseibacillus rhamnosus</i> (<i>Lactobacillus rhamnosus</i>)	16S	食品中あるいは環境中の <i>L. rhamnosus</i>
	<i>Lactiplantibacillus paraplantarum</i> (<i>Lactobacillus paraplantarum</i>)	-	食品中の <i>L. paraplantarum</i> <i>Lactiplantibacillus paraplantarum</i> Detection Kit (Cat. No. RF-0008) 使用
	<i>Lactiplantibacillus plantarum</i> (<i>Lactobacillus plantarum</i>)	<i>recA</i>	食品中あるいは環境中の <i>L. plantarum</i>
	<i>Lactobacillus delbrueckii</i> subsp. <i>bulgaricus</i>	-	食品中の <i>L. delbrueckii</i> subsp. <i>bulgaricus</i> <i>Lactobacillus delbrueckii</i> subsp. <i>bulgaricus</i> Detection Kit (Cat. No. RF-0005) 使用
	<i>Lactobacillus helveticus</i>	-	食品中の <i>L. helveticus</i> <i>Lactobacillus helveticus</i> Detection Kit (Cat. No. RF-0007) 使用
	<i>Lactococcus lactis</i>	-	食品中あるいは環境中の <i>L. lactis</i> <i>Lactococcus lactis</i> Detection Kit (Cat. No. RF-0010) 使用
	<i>Lactococcus cremoris</i>	-	食品中あるいは環境中の <i>L. cremoris</i> <i>Lactococcus cremoris</i> Detection Kit (Cat. No. RF-0011) 使用
	<i>Leuconostoc mesenteroides</i>	-	食品中あるいは環境中の <i>L. mesenteroides</i> <i>Leuconostoc mesenteroides</i> Detection Kit (Cat. No. RF-0012) 使用
	<i>Levilactobacillus brevis</i> (<i>Lactobacillus brevis</i>)	-	食品中の <i>L. brevis</i> <i>Levilactobacillus brevis</i> Detection Kit (Cat. No. RF-0006) 使用
	<i>Listeria</i> 属	<i>prsA</i>	食品中あるいは環境中の <i>Listeria</i> 属
	<i>Listeria monocytogenes</i>	<i>hlyA</i>	食品中あるいは環境中の <i>L. monocytogenes</i>
	<i>Pediococcus pentosaceus</i>	<i>recA</i>	食品中あるいは環境中の <i>P. pentosaceus</i>
	<i>Saccharomyces cerevisiae</i>	<i>nmd3</i>	食品中あるいは環境中の <i>S. cerevisiae</i>
	<i>Streptococcus thermophilus</i>	-	食品中の <i>S. thermophilus</i> <i>Streptococcus thermophilus</i> Detection Kit (Cat. No. RF-0004) 使用
	<i>Tetragenococcus halophilus</i>	16S	食品中あるいは環境中の <i>T. halophilus</i>
	<i>Heyndrickxia coagulans</i> (<i>Bacillus coagulans</i>)	16S	食品中あるいは環境中の <i>H. coagulans</i>
	芽胞菌	<i>spo0A</i>	食品中あるいは環境中の芽胞菌 (<i>Bacillus</i> 属 / <i>Geobacillus</i> 属 / <i>Anoxybacillus</i> 属 etc)
	酢酸菌	-	酢酸菌である <i>Acetobacter</i> / <i>Acidomonas</i> / <i>Gluconacetobacter</i> / <i>Gluconobacter</i> / <i>Kozakia</i> / <i>Tanticharoenia</i> 属 <i>Acetic acid bacteria</i> Detection Kit (Cat. No. RF-0001) 使用

環境アーキア、環境水、バイオ浄化およびバイオリーシング

区分	対象菌種（分類群）	遺伝子	備考
アーキア	メタン菌	<i>mcrA</i>	メタン生成菌が有するメタン酵素遺伝子 (<i>mcrA</i>)
	<i>Methanothrix</i> 属	16S	メタン発酵槽内の優占菌種である <i>Methanothrix</i> 属
	<i>Methanosarcina</i> 属	16S	メタン発酵槽内の優占菌種である <i>Methanosarcina</i> 属
	<i>Methanoculleus</i> 属	16S	メタン発酵槽内の優占菌種である <i>Methanoculleus</i> 属
	<i>Methanobacteriaceae</i> 科	-	ヒト腸内アーキアである <i>Methanobacteriaceae</i> 科 (<i>Methanobrevibacter</i> 属および <i>Methanosphaera</i> 属) <i>Methanobacteriaceae</i> Detection Kit (Cat. No. RM-0001) 使用
	<i>Methanlobus</i> 属	16S	メタン菌である <i>Methanlobus</i> 属
	<i>Methanospirillum</i> 属	-	メタン菌である <i>Methanospirillum</i> 属 <i>Methanospirillum</i> Detection Kit (Cat. No. RM-0002) 使用
	<i>Methanomethylovorans</i> 属	-	メタン菌である <i>Methanomethylovorans</i> 属 <i>Methanomethylovorans</i> Detection Kit (Cat. No. RM-0003) 使用

区分	対象菌種（分類群）	遺伝子	備考
環境水（海水・地下水など）	<i>Aeromonas</i> 属	-	河川水、泥土、魚や貝類から分離され、下痢症と関連する <i>Aeromonas</i> 属 <i>Aeromonas</i> Detection Kit (Cat. No. RE-0001) 使用
	<i>Legionella</i> 属	-	水系、土壌など広く自然界に分布する <i>Legionella</i> 属 <i>Legionella</i> Detection Kit (Cat. No. RE-0005) 使用
	<i>Legionella pneumophila</i>	<i>mip</i>	水系、土壌など広く自然界に分布し、レジオネラ肺炎の原因菌である <i>L. pneumophila</i>
	<i>Listeria</i> 属	<i>prsA</i>	食品中あるいは環境中の <i>Listeria</i> 属
	<i>Listeria monocytogenes</i>	<i>hlyA</i>	食品中あるいは環境中の <i>L. monocytogenes</i>
	<i>Serratia marcescens</i>	<i>gyrB</i>	水、土壌、牛乳などから腐生菌として検出される <i>S. marcescens</i>
	<i>Vibrio</i> 属	<i>ftsZ</i>	自然界では海水などの水中に多く存在する環境中の常在細菌である <i>Vibrio</i> 属
	<i>Vibrio vulnificus</i>	<i>vvh</i>	海水や海泥、そこに生息する魚介類に広く分布し、感染性胃腸炎や重篤な敗血症の原因になる <i>V. vulnificus</i>
	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>	<i>tlh</i>	海水に広く存在し、食中毒の原因菌である腸炎ビブリオ <i>V. parahaemolyticus</i>

区分	対象菌種（分類群）	遺伝子	備考
バイオ浄化	<i>Dehalobacter</i> 属	16S	検体中に含まれる <i>Dehalobacter</i> 属
	<i>Dehalococcoides</i> 属	16S	検体中に含まれる <i>Dehalococcoides</i> 属
	<i>Dehalococcoides</i> 属	<i>bvcA</i>	DCEs あるいは VC からエチレンへの分解酵素遺伝子である <i>bvcA</i> 遺伝子
	<i>Dehalococcoides</i> 属	<i>vcrA</i>	DCEs あるいは VC からエチレンへの分解酵素遺伝子である <i>vcrA</i> 遺伝子
	<i>Dehalococcoides</i> 属	<i>tceA</i>	TCE から塩化ビニル VC への分解酵素遺伝子である <i>tceA</i> 遺伝子

区分	対象菌種（分類群）	遺伝子	備考
バイオリーシング	<i>Acidithiobacillus thiooxidans</i>	16S	硫酸酸化に関する <i>A. thiooxidans</i>
	<i>Sulfobacillus</i> 属	16S	バイオリーシングで使用される <i>Sulfobacillus</i> 属

微生物腐食、窒素循環およびその他

区分	対象菌種（分類群）	遺伝子	備考
微生物腐食	硫酸還元菌	<i>dsrB</i>	金属の微生物腐食に関与する硫酸塩還元菌が有する硫酸塩還元酵素遺伝子 (<i>dsrB</i>)
	鉄細菌 (<i>Leptothrix</i> 属および <i>Sphaerotilus</i> 属)	-	金属の微生物腐食に関与する鉄細菌である <i>Leptothrix</i> 属および <i>Sphaerotilus</i> 属 <i>Leptothrix/Sphaerotilus</i> Detection Kit (Cat. No. RE-0002) 使用
	鉄細菌 (<i>Gallionella</i> 属および <i>Sideroxydans</i> 属)	-	金属の微生物腐食に関与する鉄細菌である <i>Gallionella</i> 属および <i>Sideroxydans</i> 属 <i>Gallionella/Sideroxydans</i> Detection Kit (Cat. No. RE-0003) 使用
	鉄細菌 (<i>Prolixibacter</i> 属)	-	金属の微生物腐食に関与する鉄細菌である <i>Prolixibacter</i> 属 <i>Prolixibacter</i> Detection Kit (Cat. No. RE-0006) 使用
	鉄酸化細菌 (<i>Leptospirillum</i> 属)	<i>gyrB</i>	金属の微生物腐食に関与する鉄酸化細菌である <i>Leptospirillum</i> 属
	硫黄酸化細菌	<i>soxB</i>	金属の微生物腐食に関与する硫黄酸化細菌が有する硫黄酸化酵素遺伝子 (<i>soxB</i>)
	硫黄酸化細菌 (<i>Acidithiobacillus</i> 属)	16S	<i>soxB</i> 遺伝子を有しない硫黄酸化細菌である <i>Acidithiobacillus</i> 属
	メタン菌	<i>mcrA</i>	金属の微生物腐食に関与するメタン生成菌が有するメタン酵素遺伝子 (<i>mcrA</i>)

区分	対象菌種（分類群）	遺伝子	備考
窒素循環（硝化／脱窒）	アンモニア酸化細菌	<i>amoA</i>	アンモニア酸化細菌が有するアンモニア酸化酵素遺伝子 (<i>amoA</i>)
	アンモニア酸化アーキア	<i>arch-amoA</i>	アンモニア酸化アーキアが有するアンモニア酸化酵素遺伝子 (<i>arch-amoA</i>)
	Anammox 細菌	<i>hzo</i>	污水处理の分野で注目されている嫌気的アンモニア酸化 (Anammox) 反応を担う Anammox 細菌
	亜硝酸還元菌	<i>nirS</i>	亜硝酸還元菌が有する亜硝酸還元酵素遺伝子 (<i>nirS</i>)
	亜硝酸還元菌	<i>nirK</i>	亜硝酸還元菌が有する亜硝酸還元酵素遺伝子 (<i>nirK</i>)
	窒素固定細菌	<i>nifH</i>	窒素固定細菌が有する窒素固定に関連するニトロゲナーゼ遺伝子 (<i>nifH</i>)
	亜酸化窒素還元菌	<i>nosZ</i>	亜酸化窒素還元菌が有する亜酸化窒素還元酵素遺伝子 (<i>nosZ</i>)
	亜硝酸酸化細菌 (<i>Nitrobacter</i> 属)	16S	亜硝酸酸化細菌である <i>Nitrobacter</i> 属
	亜硝酸酸化細菌 (<i>Nitrobacter</i> 属)	<i>norB</i>	亜硝酸酸化細菌である <i>Nitrobacter</i> 属が有する亜硝酸酸化還元酵素遺伝子 (<i>norB</i>)
	亜硝酸酸化細菌 (<i>Nitrospira</i> 属)	16S	亜硝酸酸化細菌である <i>Nitrospira</i> 属
	Comammox <i>Nitrospira</i> clade A	<i>amoA</i>	完全アンモニア酸化と考えられている <i>Nitrospira</i> 菌
	Comammox <i>Nitrospira</i> clade B	<i>amoA</i>	完全アンモニア酸化と考えられている <i>Nitrospira</i> 菌
	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	<i>gyrB</i>	窒素循環において重要な役割を担う <i>P. aeruginosa</i>

区分	対象菌種（分類群）	遺伝子	備考
その他	メタン酸化細菌	<i>pmoA</i>	メタン酸化細菌が有するメタンモノオキシゲナーゼ遺伝子 (<i>pmoA</i>)
	水素産生菌	<i>hydA</i>	検体中に含まれる水素産生菌
	Candidate Division TM7	16S	活性汚泥、環境水などに存在する Candidate Division TM7
	<i>Thiothrix</i> 属	-	活性汚泥中の糸状性細菌である <i>Thiothrix</i> 属 <i>Thiothrix</i> Detection Kit (Cat. No. RE-0004) 使用
	<i>Alphaproteobacteria</i> 綱	16S	検体中に含まれる <i>Alphaproteobacteria</i> 綱

Memo

テクノスルガ・ラボ サービス基本約款

2024年11月1日改訂

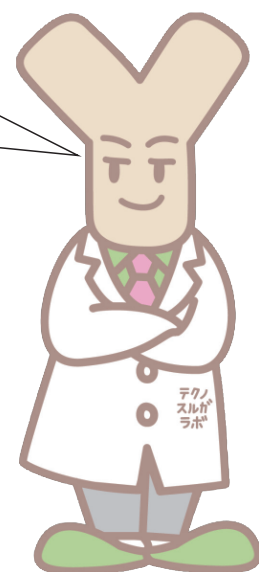
目 的	第 1 条	このサービス基本約款は、お客様から株式会社テクノスルガ・ラボ（以下、「当社」という）に微生物同定、微生物群集構造解析、生体環境分析、微生物株の分譲、理化学分析およびその他関連試験分析の委託、並びに当社サービスの提供等（以下、「本業務」という）の取引に際して、お客様と当社の間における秘密保持、成果の帰属、業務の中止、責任の範囲、支払の義務、並びに微生物株の取扱、検体の輸送や倫理面等の関連法規制・各種規定の遵守について適用されるものとしします。
お客様登録	第 2 条	本業務は、お客様登録をしていただいた上で遂行します。ただし、本サービス基本約款や当社の与信管理等に適合しないと判断した場合、お客様登録をお断りすることがあります。
	第 3 条	お客様は、お客様登録の記載内容に変更が生じた場合、直ちに変更手続きが必要となります。
登録解除	第 4 条	当社は、本業務遂行中であっても、本サービス基本約款や当社の与信管理等に適合しないと判断した場合、本業務を中止し、お客様登録を解除することができるものとします。
秘密保持	第 5 条	当社は、お客様より開示いただいた情報および本業務にて知り得たお客様の秘密情報（以下、「秘密情報」という）の一切を、お客様の同意なしに第三者へ提供することはありません。ただし以下のものは例外事項としします。 (1) 法的根拠に基づく要請および届出、裁判所の命令、その他法令に従って開示されたもの (2) 公知、公用のもの (3) お客様より開示・提供を受けた後、当社の責めによらずに公知・公用となったもの (4) お客様より開示・提供を受けた際、既に当社にて所有していたもの (5) お客様より開示・提供を受けた後、開示・提供された情報および検体とは関係なく、当社が独自に創出したもの (6) 本業務において、動物検疫所・植物防疫所に対し、輸入禁止品の確認を行う場合 (7) お客様が「割引会員」を希望した場合、「お客様登録カード」の法人名、所属の項目 (8) 感染・被爆等が発生した際、感染症等による被害の届出 (9) その他、別途、当社とお客様と協議の上定めたもの
	第 6 条	当社は、本業務の遂行にあたり当社の責任において本業務の全部、又は一部を協力企業等の第三者に再委託することがあります。ただし、お客様が、書面による再委託の禁止を事前に通じた場合は、この限りではありません。
受入検体と取扱	第 7 条	当社は、お客様より提供された検体を本業務の目的のみに使用するものとし、他の目的に一切使用、又は利用しません。又第三者への譲渡はしません。ただし、お客様の許可を書面等で得ている場合、「オープン利用可」として利用や譲渡ができるものとします。
	第 8 条	当社は、本業務において、感染症の疑いのある（ヒト・動物由来）検体並びに放射性物質等（以下、「有害物」という）、人体への甚大な健康影響が予め予測されている検体の取扱はしません。
	第 9 条	当社は、血液、臓器、細胞組織等の臨床検体、および多剤耐性菌については、本業務をお断りしています。ただし、細菌、ウイルス等を失活した分子生物学的試験のための検体は除きます。
	第 10 条	当社は、糞便、口腔等の生体検体は、原則返送しません。ただし、臨床検体輸送専門の業者等の利用に限り、返送の対応をします。なお、当社が輸送業者を手配した場合には、返送費用をご負担いただきます。
中間産物、預かり品	第 11 条	当社は、返送のご希望をいただいた場合には、本業務により発生した培養菌体、DNA 抽出物、お客様の費用で購入したプライマー等（以下、「中間産物、預かり品」という）をお客様に返送します。ただし、お客様からの処分指示があった場合、又は本業務の終了後お客様からの意思表示がなく 2 週間以上を経過した場合には、中間産物、預かり品は処分します。
購入（分譲請求）	第 12 条	当社が代理で購入（分譲請求）した菌株や本業務により発生した中間産物等の送付（譲渡）はしません。菌株やその中間産物等の送付をご希望のお客様は、お客様ご自身で菌株を購入（分譲請求）され、当社に検体としてご送付いただけます。
菌株の取扱	第 13 条	当社は、本業務の報告後、お客様からの検体処分指示があった場合や 2 週間以上を経過した場合、又は第 17 条、第 18 条、第 19 条による業務の変更や中止となった場合には、当社あるいは専門の業者に委託して、お客様より提供された検体を処分します。ただし、返送のご希望をいただいた場合、又は検体が大量である等の理由により当社の責任にて処分が困難と判断した場合には、お客様に検体を返送します。その際の処分あるいは返送費用をお客様にご負担いただくことがあります。
検体処分、返送	第 14 条	当社は、本業務において、第 20 条および第 21 条のいずれかの理由および第 22 条の追加試験を行わずに業務中止となった場合、お客様と協議の上、検体を処分します。その際の処分費用をお客様にご負担いただくことがあります。
成果の帰属	第 15 条	本業務によって得られた成果および本業務の遂行の結果から生じる知的財産権の権利は、別途共同研究契約等の定めがない限り、全てお客様に帰属し、当社は一切の権利を主張しません。ただし、お客様が第 37 条、第 38 条の支払い義務を怠り、支払い督促後にも改善されない場合、本業務により得られた成果（以下、「本成果」という）の帰属は、当社に移譲します。
データの共有	第 16 条	前条とは別に、お客様との共同研究や事前の書面により承諾を得ている又は、特定の個人を識別できる情報を削除した仮名加工を行ったデータ・成果については、研究、本事業の充実に向けて利用することができるものとします。
業務の変更	第 17 条	お客様と協議の上、本業務を途中で変更した場合、その時点までに要した諸費用は、全てお客様のご負担とします。
業務の中止	第 18 条	お客様と協議の上、本業務を途中で中止した場合、その時点までに要した諸費用は、全てお客様のご負担とします。
	第 19 条	当社は、検体の性質に起因する理由（検体の生育性低下、特殊な生育条件や PCR の増幅阻害）により、本業務の遂行が困難な場合には中止します。本作業の内容と結果を報告の上、それまでに行った作業の実費分を請求します。
	第 20 条	当社は、本業務において、検体が人体へ甚大な健康影響を与えることが予測される有害物を含んでいると判明した場合、即時に依頼された本業務を中止します。
	第 21 条	当社は、本業務において、検体が厚生労働省所管である国立感染症研究所の「病原体等安全管理規定（改訂第三版）」、日本国独自リストのバイオセーフティレベル（BSL） 3 以上の微生物である可能性が高いと判断された場合には、直ちにお客様に連絡し、追加試験を提案します。追加試験の結果、検体が BSL 3 であると判断された場合には、本業務を中止し、滅菌処分します。追加試験を行わず、BSL 3 以上の微生物である可能性が否定できない場合にも同様の扱いとします。

	第22条	当社は、本業務において、検体が「感染症の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律の一部を改正する法律」（改正感染症法）（以下、「感染症法」という。）に定める分類群に該当する可能性が高いと判断された場合には、本作業の内容と結果を報告の上、それまでに行った作業の実費分を請求します。追加試験の結果、感染症法に区分される分類群であると判断された場合には本業務を中止し、お客様に報告の上、保健所等へ連絡します。追加試験を行わず、感染症法に分類される分類群である可能性を否定できない場合には本業務を中止し、滅菌処分します。また、それまでに行った作業の実費分を請求します。
責任の範囲	第23条	お客様より開示いただいた情報では本業務開始前に当社が知り得ることのできない生物学的および物理的な特性に起因する納期の延長については、お客様と協議の上決定するものとし、これに伴うお客様の損害について、当社は賠償する責任を一切負いません。
	第24条	お客様からの検体の輸送の際に発生した破損による汚染や損害は、当社は賠償する責任を一切負いません。
	第25条	当社が目安納期内で処理しきれないほどの多検体をご依頼いただく場合、お客様と協議の上、優先順位や納期を決定しますが、これに伴うお客様の損害について、当社は賠償する責任を一切負いません。
	第26条	お客様より開示いただいた情報の内容に偽りがあり、これによって当社が被った損害と法的責任は、お客様が負うものとします。
	第27条	本業務は、試験・研究用途を目的として提供・販売しております。試験・研究目的以外にご使用される場合、これに起因する損失・損害等については、当社では一切の責任を負いません。
	第28条	インフォームドコンセントが必要となる本業務については、お客様にて倫理委員会を通され、検体名を匿名化したうえで、検体をお送り下さい。インフォームドコンセントがなされないことにより発生する問題については、当社では一切の責任を負いません。
	第29条	お客様が本業務を第三者からの受託として行なった場合、当社は当社が発行した報告書、証明書および成績書以下「報告書」という。）に対する責任は負いますが、第三者からの問い合わせへの回答やこれに起因する損失・損害等については、一切の責任を負いません。
	第30条	報告書あるいは製品の再販および報告書あるいは製品を改変し再販することに起因する損失・損害等については、当社では一切の責任を負いません。
	第31条	お客様が本業務による報告書を複製して第三者へ開示した情報は、第5条の秘密情報の例外事項(3)に該当するものとし、当社は以後、秘密保持の責任を負いません。又これに起因する損失・損害等については、当社では一切の責任を負いません。
	第32条	当社は、当社の承認印、又は当社ロゴマークがある当社が発行した正式な報告書に対してのみ、当社報告書として承認します。これ以外の報告形式ではない画像データや文書データ等については、当社が承認する報告書の対象外とします。
支払の義務	第33条	当社は、お客様からお預かりした検体に対して、本業務の終了までの間、依頼書に書かれた方法や最善と考える方法にて保管しますが、微生物の生育性・菌相(菌叢)および物質の安定性は保証しません。
	第34条	当社は、本業務に関する情報や発生した記録について、本成果物の納品日より10年間保管します。10年経過後は記録を廃棄し、お問い合わせ等に関する一切の対応はしません。
	第35条	当社が発行した報告書の再発行は、報告書発行後1年までとなります。ただし、当社の責に帰すると判断した場合、前条で定める記録保管中であればこの限りではありません。
	第36条	当社では、お客様からの受領確認書等の通知をもって検収完了とみなし、その時点をもって履行義務も完了とします。また、納品後2週間以内に通知がない場合も検収が完了されたものとし、同様の扱いとします。
	第37条	本業務に関する費用のお支払い方法は、銀行振込によるものとし、原則として請求書発行月の翌月末日以内に指定された銀行口座に振込むこととします。
法規制の遵守	第38条	当社は、支払い期日を過ぎても入金の確認ができない場合、遅延損害金として遅延金額につき支払期日の翌日から、支払完納日まで年10%の割合による利子をお客様に請求できるものとします。
	第39条	当社およびお客様は、「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律（遺伝子組換え規制法、カルタヘナ法）」に該当する微生物の試験やプラスミド、バクテリオファージ等の移動、利用等の際は、遺伝子組換え生物等の使用等の規制や届け出（申請）、保管、運搬等について遵守します。又、事前に当社遺伝子組換え生物用の依頼書にて、遺伝子組換え生物等の情報をご提供いただきます。検体を輸送する場合は、漏出や拡散しない容器に入れ、最も外側の容器に取扱いに注意を要する旨を表示することを遵守します。詳しくは、文部科学省「ライフサイエンスの広場」 https://www.lifescience.mext.go.jp 、環境省バイオセーフティクリアリングハウス https://www.biodic.go.jp/bch/ および遺伝子組換え生物等(LMO)に関する各種情報等をご確認下さい。
	第40条	検体の提供国が日本国以外の場合、生物多様性条約(CBD) および提供国が独自に定める国内法に関する同意書にはお客様自身が締結することを遵守していただきます。当社は、生物多様性条約に伴う提供国との利益配分(ABS)について、権利を一切主張せず、又一切関知しません。
	第41条	日本国外で分離された微生物株や採取した土壌、水等は、植物防疫法や家畜伝染予防法の規制対象となります。当該検体を用いた本業務の実施の際は、検体の使用についての規制や届け出（申請）、保管、運搬方法等について、事前に当社へ情報をご提供いただくとともに法令を厳守していただきます。
不可抗力	第42条	当社は、第39条、第40条、第41条の他、感染症法、細菌兵器(生物兵器) および毒素兵器の開発、生産および貯蔵の禁止並びに廃棄に関する条約、外国為替および外国貿易法、国際航空運送協会(IATA)による航空輸送規則、個人情報保護法、倫理指針、並びに危険物取扱等の関連法規制・各種規定に関してこれを遵守します。同様にお客様にも遵守していただきます。
	第43条	天災地変、戦争、テロ等の不可抗力により、本サービス基本約款に基づく義務の不履行および履行遅滞により生じた損害については互いに責を負わないものとします。
	第44条	その他定めのない事項については、お客様と当社の協議の上、決定します。
	第45条	当社が提供するサービスおよび製品は研究用です。検査・診断を目的したものではありません。
	第46条	当社が提供する製品は研究用です。医薬品医療機器法に基づく体外診断用医薬品あるいは医療機器として承認・認証等を受けておりません。
	第47条	試験は、特定の条件や環境でのみ有効である可能性があります。異なる条件や環境下での結果に対して、当社は保証するものではありません。
	第48条	試験には、科学的・技術的限界や不確実性が含まれます。当社は最善の試験と信頼性の高い結果を提供することを目指しますが、正確性または完全性について、保証をするものではありません。
免責事項	第49条	試験では、信頼できると判断した外部データや情報を利用する場合があります。ただしそれらデータの正確性、信頼性や完全性について、当社は保証するものではありません。

- 第50条 当社は、お客様の依頼を達成するよう最善の努力を払いますが、お客様の目的の達成を保証するものではありません。
- 第51条 当社は、検体のサンプリングや輸送中など、当社に到着するまでの検体の状態に起因する当社サービスへの影響について責任を負いません。
- 第52条 当社は、お預かり品の輸送中の状態に起因する当社サービスへの影響について責任を負いません。
- 第53条 当社は、検体に不均質性が考えられる場合、その不均質性に起因する試験結果の精度や信頼性について、保証するものではありません。
- 第54条 試験結果の適切な解釈、利用、および安全性は、お客様の責任による判断となります。結果の使用について、当社は責任を負いません。
- 第55条 当社は、試験に関する連絡や報告に関し、可能な限り速やかにお客様に通知する努力をいたしますが、適時性についてお客様のご要望に沿うことを、保証するものではありません。
- 第56条 検体の状態や特性に起因して試験に関する連絡および報告が遅延する場合があります。それらによって生じた問題について、当社は責任を負いません。
- 第57条 当社は、試験の結果に関する解釈や推定について、最善の努力を払いますが、その正確性について保証をするものではありません。
- 第58条 試験に関連して、第三者の権利を侵害する可能性がある場合、お客様は自らの責任で適切な許可や調整を行うものとします。第三者への権利侵害について、当社は責任を負いません。
- 第59条 お客様は試験に供する検体に対し、関連する法令や規制に従う責任を負います。法令、規制の遵守に伴う問題について、当社は責任を負いません。
- 第60条 当社が提供するサービスおよび製品に関連して責任が発生した場合、当社の責任は、無償でのサービス提供または製品の再提供、または代金の返金のいずれかとし、その限度額は委託されるサービスの提供費用を超えないものとします。
- 第61条 機能や性能の変更を伴わないサービスおよび製品の仕様（デザイン）は、予告なく変更されることがあります。予告なしに変更された場合においても、当社はその変更に関因する一切の責任を負いません。
- 第62条 試験に使用する試薬の販売終了や機器の故障、その他やむを得ない事由によりサービス内容を変更、または終了する場合があります。
- 第63条 当社は検体および預かり品の一時保管中、状態の保護に最善を尽くします。ただし状態の変化に伴う試験結果への影響について保証するものではありません。
- 第64条 提供する試験では、使用する試薬や消耗品に内包されるばらつきがメーカーの許容範囲内であることを評価し、実験結果に影響を与えないものとして使用します。
- 第65条 当社の調製培地は、培地性能試験は行っておりません。
- 第66条 お預かりした検体を返送する場合、当社は試験前の検体と同等の状態を保証するものではありません。

株式会社テクノスルガ・ラボ

微生物のことなら、
テクノスルガ・ラボまで
お気軽にお問い合わせを！



当社キャラクター「ビフィド君®」です。
「セレビちゃん®」共々よろしくお願ひします。

お 願 い

◆ 本カタログに掲載した製品について：

試験・研究用途を目的として販売しています。当社製品などを試験・研究目的以外へご使用される場合、これに起因する損失・損害などについては、当社では一切の責任を負いかねます。カタログに掲載した製品は、安全な方法でご使用下さい。カタログまたは取扱説明書に記載していない方法で製品を使用した場合には、当社は一切の責任を負いません。製品の再販、および製品を改変し再販することに起因する損失・損害などについては、当社では一切の責任を負いかねます。

◆ 本カタログに掲載した試験サービスについて：

当社受託サービスなどを試験・研究目的以外へご使用される場合、これに起因する損失・損害などについては、当社では一切の責任を負いかねます。試験報告書の再販、および試験報告書を改変し再販することに起因する損失・損害などについては、当社では一切の責任を負いかねます。

◆ 著作権について：

本カタログに掲載の試験に関する著作権は、株式会社テクノスルガ・ラボに帰属しています。本カタログおよび株式会社テクノスルガ・ラボ ホームページに掲載の記事や写真などのコンテンツ、データについては、著作権法上認められた「私的使用のための複製」や「引用」などの場合を除き、無断での転載を禁じます。

◆ 価格・仕様などについて：

本カタログは 2025 年 10 月に作成されたもので、予告なくサービス内容、製品の仕様、報告形式、価格などの変更をすることがあります。